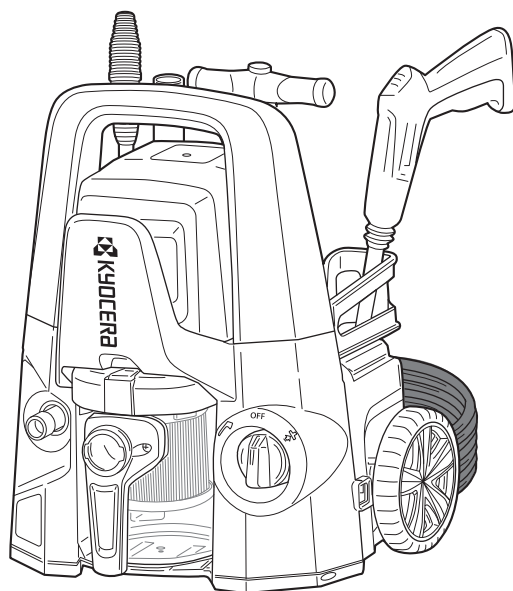


マルチ洗浄機 KMP-1200

自吸機能付

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～13
■梱包明細	14
■各部の名称	15
■仕様	16
■用途・別販売品	17
■ご使用前の準備	18
【高圧洗浄機能】	
■ご使用前の準備	19～24
■操作方法	25～27
■使用方法	28～37
【集じん機能】	
■ご使用前の準備	38～39
■操作方法	40
■使用方法	41～46
【フロー機能】	
■ご使用前の準備	47～48
■操作方法	49
■使用方法	50～52
■別販売品について	53～56
■保守と点検	57～59
■収納・運搬・保管方法	60～61
■故障かなと思ったら	62～66
■保証書	裏表紙

 二重絶縁

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本製品の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△ 警告」と「△ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。なお、「△ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△ 警告」・「△ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△ 」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用したりしないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 身体がアースされたものと接触した場合、感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
6. 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、電動工具を接続する電源が労働安全衛生規則や電気設備に関する技術基準などに規定された感電防止用の漏電しゃ断装置（RCD）を備えていることを確認してください。
 - ・ 漏電しゃ断装置を使用することで、感電のリスクは低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりする場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻なけがや事故を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、けがや事故が低減されます。
3. 電源につないだ状態でスイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチがオフになっていることを確かめてください。
 - ・ スwitchに指をかけて運んだり、スイッチがオンの状態で電源プラグを電源コンセントにさし込んだりすると、電動工具が意図せず始動し、けがや事故を引き起こすおそれがあります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転してけがや事故のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に適切な足元およびバランスを維持することで予期しない状況でも適切に操作することができます。

警告

6. だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、きちんとした服装で作業してください。髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 - ・回転部に巻込まれるおそれがあります。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。
 - ・不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・スイッチで始動および停止ができなくなった電動工具は使用しないでください。直ちに使用を止め、お買い上げの販売店に修理をご相談ください。そのままの状態で使用を続けるとけがや事故の原因となるおそれがあります。
3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電動工具が意図せず始動するリスクを低減することができます。
 - ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
 - ・保管、または修理する場合
 - ・その他危険が予想される場合
4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。
 - ・電動工具に不慣れな方が使用するとけがや事故の原因となるおそれがあります。
5. 電動工具、付属品および先端工具は適切に保管し、使用前には必ず点検してください。
 - ・可動部分の芯ずれおよび位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他の運転に影響を及ぼす全ての箇所や機能に異常がないか確認し、異常がある場合は、ご使用前に修理してください。
 - ・保守が不十分な場合、けがや事故の原因になります。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない部品交換や修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

警告

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、けがや事故のおそれがあります。

F) その他の安全事項

1. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
2. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
3. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
＜異常・故障例＞
 - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードや延長コードに深いキズや変形がある。
 - ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気をを感じる。
 - ・ スイッチで始動、及び停止操作できない。
 - ・ スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
4. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、けがや事故の原因となるおそれがあるので使用しないでください。
5. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電するおそれがあります。
7. 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 握り部が滑ると、電動工具の安全な取扱いまたは、制御を妨げるおそれがあります。
8. 足元が滑りやすいところで作業する場合は、滑り止めのついた履物を着用してください。
 - ・ 転倒し、けがや事故を引き起こすおそれがあります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

マルチ洗浄機ご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、マルチ洗浄機をご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所での作業は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ マルチ洗浄機は、雨ざらしにしたり、雨中で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 周囲に人がいる状況ではマルチ洗浄機を使用しないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
5. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、マルチ洗浄機やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
6. 子供がマルチ洗浄機やコードで遊ばないように注意してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。

警告

7. 監督者がいない状況で、補助を必要とする方が単独で使用しないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
8. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
9. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、マルチ洗淨機的能力に合った作業をしてください。
10. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
 - ・ 作業中は、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
11. 防音保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持ってマルチ洗淨機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
14. マルチ洗淨機は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、常に手入れをしてください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
15. 次の場合は、マルチ洗淨機のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、マルチ洗淨機から離れる、または修理する場合。
 - ・ 付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。

警告

16. 不意な始動は避けてください。

- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。コンセントにさし込むと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。また、接続部は乾いた地面から 60mm 以上の高さに保ち、絶対にぬらさないでください。

- ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・マルチ洗浄機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。

19. 十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

20. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、部品（電源コード、高圧ホース、スイッチなど）に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ないマルチ洗浄機は、使用しないでください。
- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
- ・そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気をを感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

警告

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。特に、高圧ホースやカップリング等の接続部品は機器の安全性にとって重要な部品です。当社が指定したものをご使用ください。

23. マルチ洗浄機の修理は、専門店に依頼してください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申しつけください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

24. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・ 表示を超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。

25. 本製品に向かって噴射したり、水をかけたりしないでください。雨中で使用しないでください。またぬれた手で、電源プラグや延長コードに触れないでください。

- ・ 感電のおそれがあります。

26. 定格 15A 以上のコンセントを単独で使ってください。

- ・ 他の器具と併用すると、分岐コンセントが発火炎上する場合があります。

27. 本製品は水道の蛇口からの給水と溜め水からの自吸が可能です。自吸で使用するときは必ず別販売品の自吸キットを取付けて使用してください。

28. ガソリン、オイル、有機溶剤などの可燃性液体や農薬、有害液体、その他不適当な液体は使用しないでください。

- ・ 事故または故障の原因や発火炎上する場合があります。

29. 酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。洗剤は中性洗剤のみ使用してください。

- ・ 酸性、アルカリ性の洗浄剤または化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を与えることがあります。

30. ワンタッチカプラと本体の接続部分は、確実に締付けてください。

- ・ 確実に締まっていない場合は、作業中に脱落するおそれがあります。

31. 作業前に延長コードが損傷していないことを確認してください。

- ・ コードが損傷していると、感電事故の原因になります。

32. 延長コードを使用するときは、機械の能力に合った、十分な太さの延長コードを使用してください。（18 ページの「●延長コードを使用する場合」参照）

警告

33. 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
 - ・ 高圧の水でけがをするおそれがあります。
34. ガンのレバーを、ひもや針金などで固定して使用しないでください。
 - ・ とっさのとき、噴射を停止することができず、けがの原因になります。
35. ガンのレバーを引いたときに、水の勢いにより意図しない方向に噴射することがあります。両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
 - ・ 確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。
36. 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがいないことを確認してから作業してください。
 - ・ ガンのノズルからは、高圧水が噴射され、けがや破損の原因になります。
37. 衣服または履物類を洗浄するために、ノズルを自分自身または他人に向けてしないでください。
 - ・ 高圧水が噴射され、けがの原因になります。
38. 対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。
39. 車のタイヤを洗浄するときには、ノズル先端から最低 30cm 以上離して洗浄してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤを損傷し、重大事故の原因となる場合があります。損傷、または表面の色が変色した場合には、直ちに専門家に点検を依頼し、安全を確認した後、使用してください。
40. 車などの足まわりなどを洗浄するときには、グリス塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。
 - ・ グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
41. 作業を中断するときや付属品を交換するときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。
42. 使用中、製品の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。
 - ・ けがや故障の原因になります。
43. 本体の吸込口、吸気口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
44. 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。本体が使用中に転倒したときは、ただちに電源スイッチを切り、本体を立て直してください。
 - ・ 電源スイッチを入れたまま放置しないでください。けがや思わぬ事故の原因になります。

警告

45. ダストカップは正しく取付けて使用してください。正しく取付けていないとモーター部にゴミが入り、故障の原因になります。
46. 可燃性の液体（ガソリン、シンナー、ベンジンなど）やガスのある場所で使用しないでください。また、それらを吸込ませないでください。
- ・ 発火、爆発の原因になります。
47. 火災や感電、けが、健康障害、故障の原因になりますので、以下のものは吸込まないでください。
- 引火性物質
- ・ ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など
 - ・ 金属の研削、切断作業時に発生する火花
 - ・ 火のついているもの、たばこの吸い殻など煙の出ているもの、および高温のものなど
 - ・ トナーなどの可燃物
 - ・ 釘、カミソリの刃、つまようじ、ガラスなど鋭利なもの
 - ・ 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体
 - ・ 金属粉やカーボン粉などの導電性のある微細な粉じん
 - ・ 可燃性のガス（スプレーなど）
- 爆発性物質
- ・ ニトログリセリンなど
- 発火性物質
- ・ アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど
- ペットなどの排泄物、吐しゃ物、およびそれらがついたもの
- 固化するもの
- 大量の小麦粉、消火器の粉など、粉じん爆発のおそれのあるもの
- 除湿剤や乾燥材など
- 薬品類、中毒症状を起こす物質など
- 石綿（アスベスト）など人体に有害なもの
48. 使用中にノズルの先端を人に向けしないでください。
- ・ 事故の原因になります。
49. 使用中、本体を確実に保持してください。
- ・ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
50. 吸込口や排出口に身体（指、手など）を入れないでください。
- ・ けがの原因になります。
51. ノズルやダストバッグの取付け、取外しの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 不意な始動による、けがの原因になります。
52. 火のついたタバコ、マッチなどを吸込ませないでください。
- ・ 故障、発火の原因になります。

警告

53. 停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。
- ・ 停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止した時は、必ずスイッチを切ってください。
 - ・ 電源が回復した時に急に始動し、けがの原因になります。
54. 電源スイッチを切った後は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてください。圧力が残っていると、ガンから高圧な残水が噴射され、けがの原因になります。
- ・ 高圧ホースや吸水ホースを本体から外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
 - ・ ノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから、圧力を抜いてください。
55. 子供や不慣れな人に使用させないでください。また、保管する際は、子供の手の届かない所へ保管してください。
56. 高圧ホースを傷つけないでください。また、高圧ホースに向かって噴射しないでください。
- ・ 高圧ホースを傷つけると破損する可能性があります。傷、変形を発見した場合は新しい高圧ホースと交換してください。
57. 本製品を主給水管（上水道）よりも高い位置で使用する場合は、本製品接続前に主給水管に接続したホースから放水できることを確認してください。マルチ洗浄機に残っていた水が主給水管に逆流しないよう、主給水管に接続したときにしばらく水を噴射し、マルチ洗浄機内の水を排出してください。
58. マルチ洗浄機の使用中に、健康被害を引き起こすおそれのあるエアロソル（霧のような粒子状の水）が発生することがあります。エアロソルを吸込むおそれがある場合は、FFP2 や DS2 相当のマスクを着用することを推奨します。
59. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
- ・ 発火したり、異常作動してけがの原因になります。
60. 電源プラグを取り外し、配電盤などに接続することは、資格のある電気技師が『電気設備に関する技術上の基準を定める省令』に適合するよう行なう必要がある危険が伴う作業です。感電や法令に違反するおそれがありますので、絶対にしないでください。
61. マルチ洗浄機に使用した水は飲まないでください。

⚠ 注意

1. 本製品は水のかからない、水平で安定した場所に設置してください。
 - ・ 故障の原因になります。
2. 本体を倒して使用しないでください。
 - ・ 事故や故障の原因になります。
3. 自吸で溜め水を使用するときは、ゴミ、砂など混じった水は使用しないでください。（別販売品の自吸キットを使用）
 - ・ 故障の原因になります。
4. 本製品を誤って落としたりぶつけたりしないでください。故障の原因になります。
 - ・ 落としたりした場合は、本製品に異常がないか確認した後、使用してください。
5. 凍結に注意してください。
ポンプ内に水が残っている状態で凍結する場所に放置しないでください。
 - ・ ポンプの破損と故障の原因になります。
6. 吸込み（集じん）作業前に必ずダストバッグを装着していることを確認してください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 作業前に大きな木片、金属、ガラス、石などの異物を取除いておいてください。
 - ・ ファン破損の原因になります。
8. ノズルやダストカップは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないとはれたりし、けがの原因になります。
9. 飛散物が目に入るような洗浄作業をする場合は、メガネなどの保護具を着用してください。また、ほこりが多い場所ではマスクを併用してください。
10. 噴射の際は、ラベルなどに直接噴射をしないでください。
 - ・ 水圧により、ラベルなどがはがれる原因となることがあります。
11. 車の洗浄は、バリアブルノズルを拡散側にして使用してください。
 - ・ 水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モールなどが剥がれる場合があります。
12. 作業中の本体設置場所に注意してください。
 - ・ 本体から1分間に数滴程度の水漏れが発生することがありますが、異常ではありません。
13. 使用後、または停電のとき、点検・整備するとき、マルチ洗浄機から離れるときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
14. 高圧ホースを折らないでください。また、高圧ホースはまっすぐに延ばして使用してください。
 - ・ 高圧ホースが折れると高圧ホースの耐圧力が低下し、破裂する可能性があり危険です。高圧ホースの折れを発見した場合は新しい高圧ホースと交換してください。

⚠ 注 意

- ・ 高圧ホースを巻いたまま引っ張ると高圧ホースが折れて破裂する可能性があります危険です。
- ・ 摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、砕石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ・ ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- ・ 高圧ホースを吊るしたり、引っ掛けたりして使用しないでください。使用時の振動により高圧ホースが摩耗して破裂する場合があります危険です。

騒音について

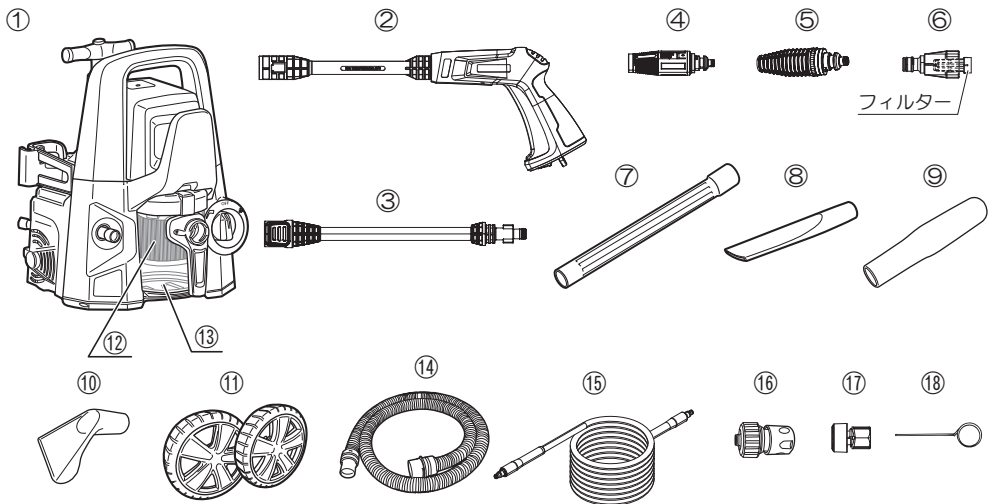
ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

梱包明細



No.	名 称	数量	No.	名 称	数量
①	本体	1	⑪	タイヤ	2
②	ガン	1	⑫	カートリッジフィルター（本体取付）	1
③	中間ランス	1	⑬	ダストカップ（本体取付）	1
④	バリアブルノズル	1	⑭	集じんホース（伸縮 1～3.5 m）	1
⑤	ターボノズル	1	⑮	高圧ホース（10m）	1
⑥	吸水コネクター（フィルター付）	1	⑯	ワンタッチジョイント	1
⑦	延長パイプ	1	⑰	ワンタッチカブラ	1
⑧	スキマノズル	1	⑱	ノズルクリーナーピン	1
⑨	ブロウノズル	1	—	取扱説明書（本書）	1
⑩	クリアノズル	1	—	かんたんガイド	1

※ 吸水ホース（内径 15mm）、ホースバンドなど（吸水ホースを蛇口に固定するもの）は付属しておりませんのでご注意ください。

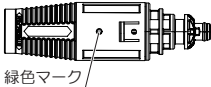
※ 吸水ホースを蛇口に固定するために必要な工具をご用意ください。

※ 改良のため部品の形状、色調が異なることがあります。



④バリアブルノズル（緑色マーク）について

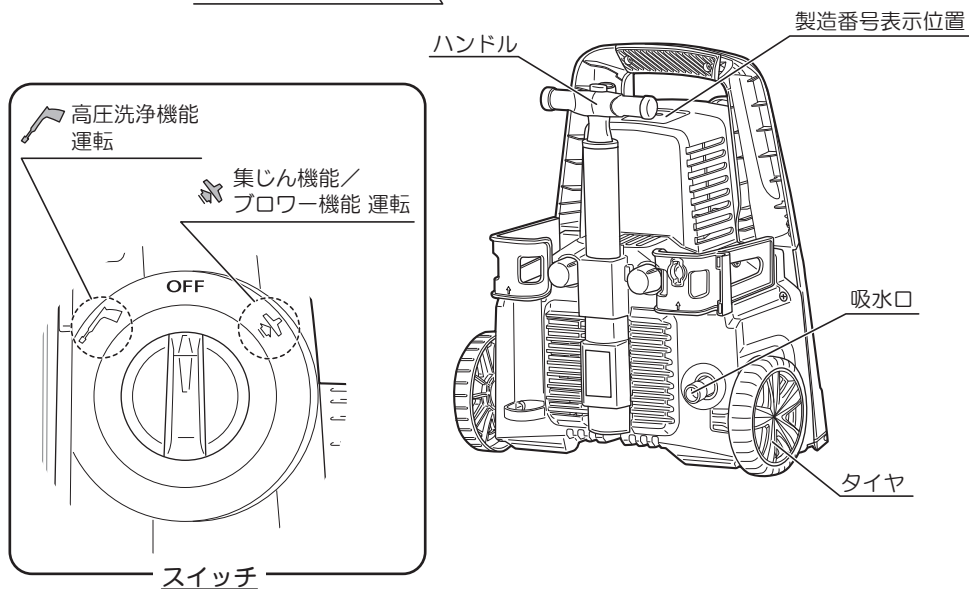
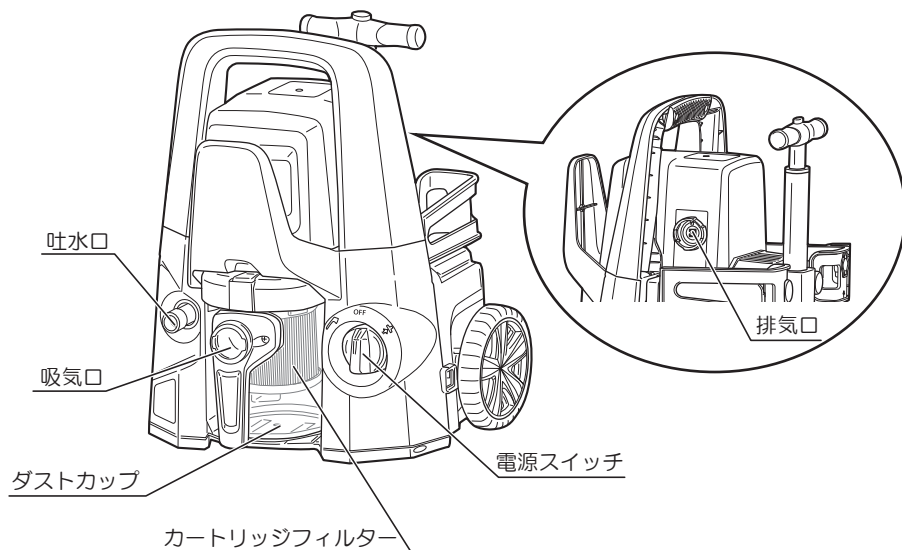
- ・ 当社の商品に外観が同じ赤色マークの部品があります。製品性能が異なるため、赤色マークの部品は本製品では使用できません。また、本製品に付属の緑色マークの部品も当社の赤色マークの部品が付属されている商品では使用できません。



⑮高圧ホースについて

- ・ 本製品で使える高圧ホースはホース部分に「16MPa」と印字されています。当社の部品に「12MPa」と印字されている高圧ホースがありますが、本製品では使用できません。製品性能が異なるため、高圧ホースが破損するおそれがあります。

各部の名称



仕様

●仕様

●本体

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）..... 375 X 345 X 440 (850^{※1})mm
- ・コード長さ 5m
- ・質量 7.3 kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

●高圧洗浄機能

- ・定格電流 12.5A
- ・消費電力 1,200W
- ・吐出圧力 7.0MPa
- ・最大許容圧力^{※2} 10.5MPa
- ・吐出水量 5.0L/min
- ・最大吐出水量^{※3} 7.0L/min
- ・給水方法 水道 / 自吸^{※4}
- ・最大許容給水圧力^{※5} 0.7 MPa
- ・許容水温 40℃以下
- ・振動値 振動伝達値 ah 1.3 m/s²
不確定性 K 1.5 m/s²
- ・騒音音圧レベル (Lpa) 83.7 dB

●集じん／ブロワー機能

- ・タイプ 乾湿両用
- ・定格電流 8.3A
- ・消費電力 800W
- ・最大風量（ブロワー時）..... 1.24 m³/min
- ・最大真空度 14.0 kPa
- ・集じん容量 ダストカップ内 1.2 L

※1 ハンドルを伸ばしたときの値です。

※2 最大許容圧力..... ポンプの能力の限界圧力

※3 最大吐出水量..... ポンプが吐出できる最大の水量

※4 自吸で使用する場合は、別販売品の自吸キットをお買い求めください。

※5 最大許容給水圧力..... 本製品に吸水する際の限界圧力

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

用途・別販売品

●用途

- ・ 自動車の洗浄、清掃
- ・ 家周りなどの清掃

●別販売品

- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ マルチ洗浄機の別販売品（アクセサリー）として、延長高圧ホース、パイプクリーニングキットなどを用意しております。
別販売品の詳細につきましては、お買い上げの販売店または商品のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

ご使用前の準備

●漏電しゃ断器設置のすすめ

- ・ 本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流 30mA 以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●設置場所について

- ・ 使用中（吸水コネクター着脱時等）に水が漏れることがあります。そのため、水漏れしても大丈夫な場所でご使用ください。

●延長コードを使用する場合

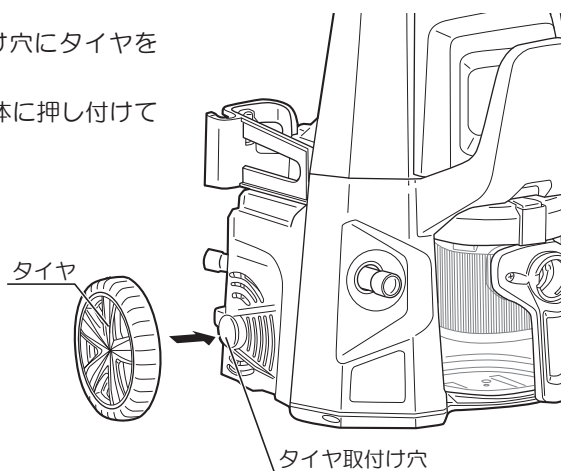
- ・ 電圧降下や過負荷によるモーター焼けを防ぐため、出来る限り延長コードを使用せず、マルチ洗浄機の電源プラグを直接電源コンセントにさし込んでください。
延長コードが必要な場合は、別販売品の延長コードをご使用になるか、表に準じた工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
- ・ リール（巻取りタイプ）で使用する場合は、リールに巻かれているコードをすべて引出した状態で使用してください。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

延長コードの太さ	延長コード長さ
2mm ² 以上	20m 以下

●本体にタイヤを取付ける

- ・ 本体両サイドにあるタイヤ取付け穴にタイヤを取付けます。
「カチッ」というまでタイヤを本体に押し付けて確実に取付けてください。



高圧洗浄機能

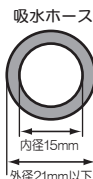
ご使用前の準備

●吸水ホースの用意

- ・本製品には、吸水ホース、ホースバンドなど（吸水ホースを蛇口に固定するもの）を付属していません。

水道の蛇口から、本体の設置場所までの距離に応じた長さの市販のホース（内径 15mm・耐圧タイプ）を用意してください。市販のホースバンドを使用するなど蛇口の形状に合った接続方法で、しっかりと蛇口とホースを接続してください。

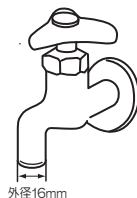
※自吸で使用するときは、必ず別販売品の自吸キットを取付けてください。



●蛇口の確認

- ・蛇口口金は、水道栓が埋込んである場合や、下図以外でも取付けられないものがありますのでご注意ください。

適合蛇口タイプ ○			非適合蛇口タイプ ×		
横水栓 	万能水栓 	自在水栓 	丸蛇口以外のタイプ 	立水栓（四角タイプ） 	ネジ式タイプ
横水栓 	ホース接続水栓 	ホース接続水栓 			



高圧洗浄機能

ご使用前の準備（取付け）

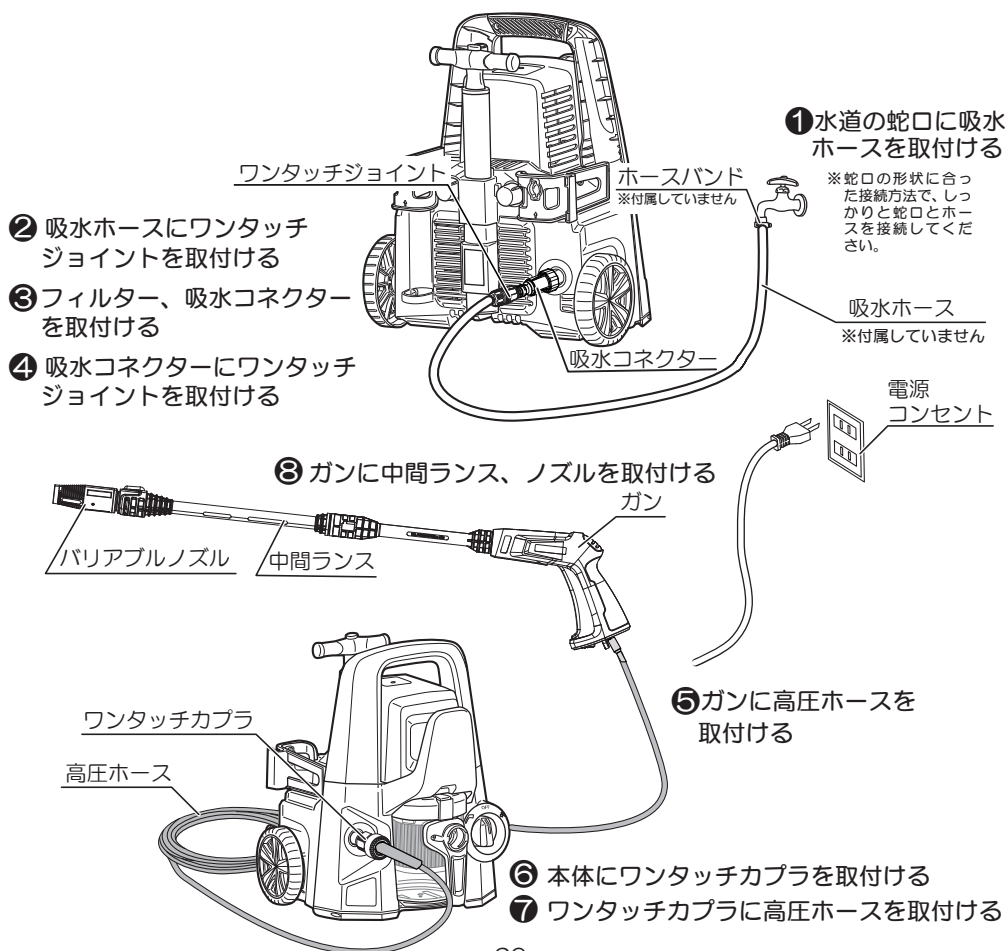
【水道水を使用する場合】

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ ノズルの噴射口を人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向けないでください。高圧水が噴射し、けがの原因になります。

取付けには、吸水ホース（内径 15mm）、ホースバンド、⊕ドライバー または ⊖ドライバーが必要です。ご用意ください。

次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全に洗浄作業を行なってください。



ご使用前の準備（取付け）

① 水道の蛇口に吸水ホースを取付ける

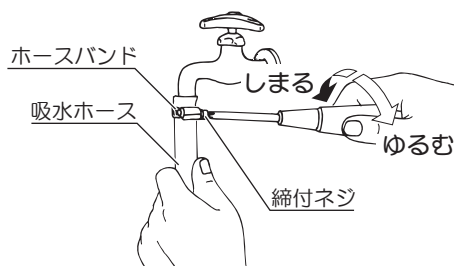


- ・ 吸水ホースは内径 15mm の耐圧タイプを使用してください。
- ・ 蛇口、ホース、ホース内にゴミや泥が付いていたら取除いてください。ホースは取付ける前に一度、水を流してください。ポンプ内にゴミや泥が入ると故障の原因になります。
- ・ 必ず水道の蛇口から直接水を供給してください。温水（40℃以上）や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

ホースバンドでの取付け例

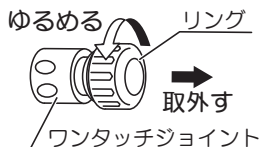
1. 吸水ホースにホースバンドを通し、水道の蛇口にさし込みます。
2. 締付ネジを⊕ドライバーまたは⊖ドライバーで締付けて固定します。

※ 使用準備が終わるまで水道の蛇口を開かないでください。

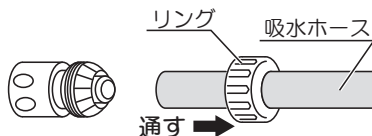


② 吸水ホースにワンタッチジョイントを取付ける

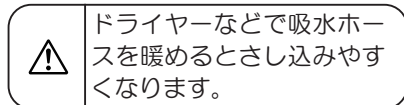
1. ワンタッチジョイントのリングをゆるめ、取外します。



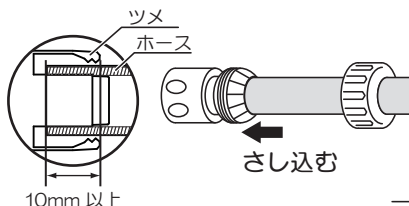
2. 吸水ホースにリングを通します。



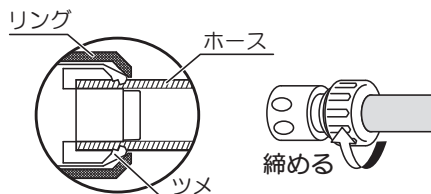
3. 吸水ホースを図のようにワンタッチジョイントのツメの先端から 10mm 以上さし込みます。



ドライヤーなどで吸水ホースを暖めるとさし込みやすくなります。



4. リングを回してしっかり締付けると、ツメで吸水ホースが固定されます。



ワンタッチジョイントには弁が付いています。吸水コネクタに接続しないと、水は流れません。

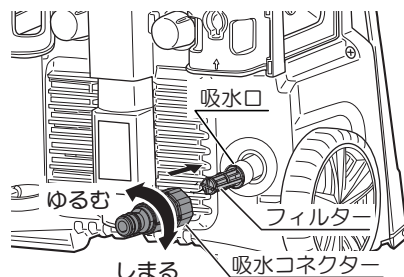
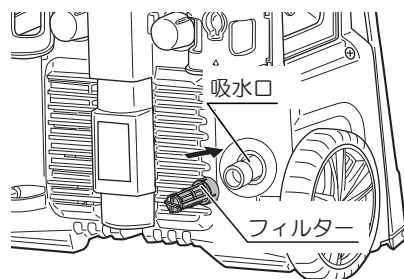
③ フィルター、吸水コネクターを取付ける

※ お買い上げ時には、吸水口にキャップが取付いてありますので、キャップを取外してください。

- ・ フィルターを吸水口にさし込みます。
- ・ 吸水コネクターを本体の吸水口にねじ込んで取付けます。

吸水コネクターは、吸水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込んでください。

(斜めの状態でねじ込みますとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。)



吸水コネクターを取付ける前に吸水コネクター内にゴムパッキンがあることを確認してください。ゴムパッキンがないと締付けても水漏れします。

吸水コネクター



ゴムパッキン

④ 吸水コネクターにワンタッチジョイントを取付ける

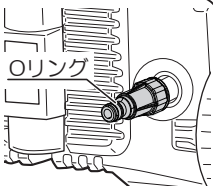
- ・ 吸水コネクターにワンタッチジョイントを「カチッ」と音がするまで押込みます。



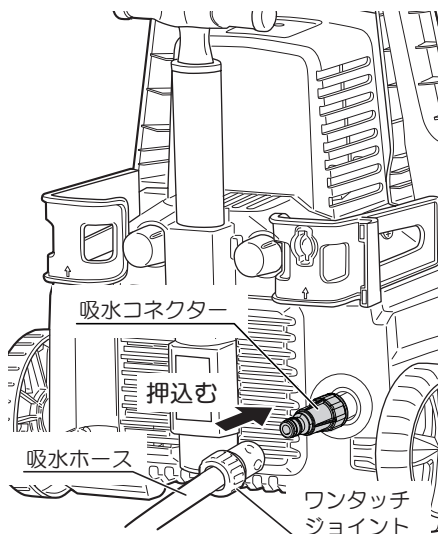
- ・ ワンタッチジョイント、吸水コネクターにゴミや泥が付いていたら取除いてください。
- ・ 吸水ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。



取付けが固い場合は、吸水コネクターのリング部に市販のグリスまたは油を少量塗布してください。



リング



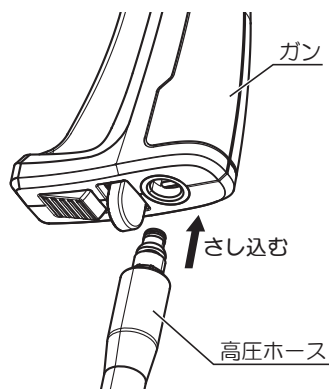
ご使用前の準備（取付け）

⑤ ガンに高圧ホースを取付ける

- 高圧ホースの接続部をガンのホース接続口に「カチッ」と音がするまでさし込みます。さし込んだ後は、高圧ホースを2～3回引っ張って抜けないことを確認してください。



接合部にゴミや泥が付いている場合は水漏れの原因になります。



⑥ 吐水口にワンタッチカプラを取付ける

※ お買い上げ時には、吸水口にキャップが取付けてありますので、キャップを
取外してください。

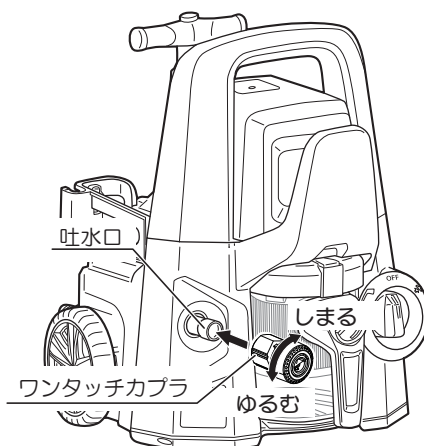
- ワンタッチカプラを本体の吐水口にねじ込んで取付けます。

ワンタッチカプラは、吐水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込んでください。

（斜めの状態でねじ込みますとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。）



吐水口、ワンタッチカプラにゴミや泥が付いていたら取除いてください。

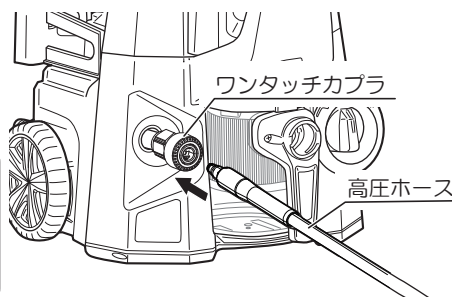


⑦ 高圧ホースを取付ける

- 高圧ホースの接続部をワンタッチカプラのホース接続口に「カチッ」と音がするまでさし込みます。さし込み後は、高圧ホースを2～3回引っ張って抜けないことを確認してください。



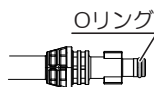
- 高圧ホースにゴミや泥が付いていたら取除いてください。
- 高圧ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。



⑧ガンに中間ランス、ノズルを取付ける

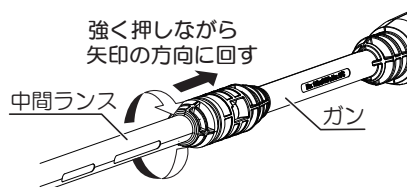
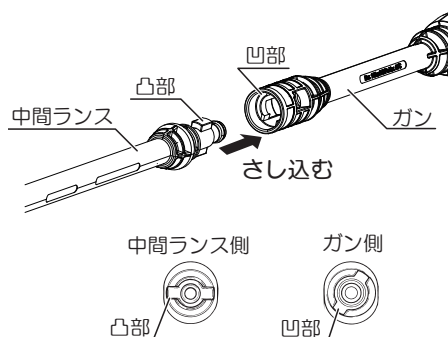


- ・ 取付ける前にガン、中間ランス、ノズルの凸部、凹部にゴミや泥が付いていたら取除いてください。ノズルが詰まる原因になります。
- ・ 取付けが固い場合は、中間ランス、ノズルのＯリング部に市販のグリスまたは油を少量塗布してください。



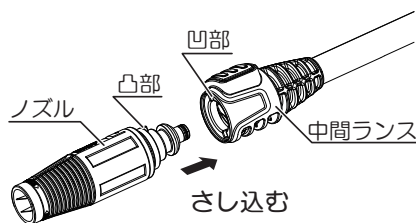
1. 中間ランスの凸部をガンの凹部にさし込み、**強く押しながら矢印方向に回して**取付けます。

取付けた後は、中間ランスを引っ張って
抜けないことを確認してください。



2. ノズルの凸部を中間ランスの凹部に合わせ、「カチッ」と音がするまでさし込んでください。

取付けた後は、ノズルを引っ張って抜けないことを確認してください。



操作方法

⚠ 注 意

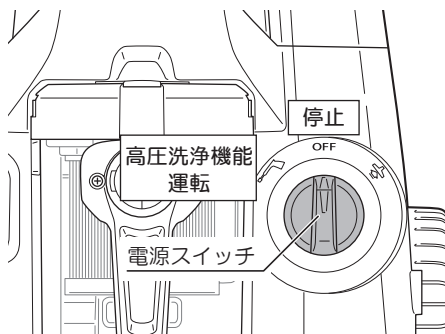
- ・ 付属品を交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ 直噴洗浄（27 ページ参照）の時は高圧の水が噴射されるため、対象物によっては損傷が生じるおそれがあります。目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。

●スイッチの扱い方

⚠ 警 告

- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示（100V）以外の電圧で使用すると過電圧による発熱、火災の原因になります。
- ・ 電源スイッチを入れる場合は、必ずノズルの噴射口が人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などに向いていないことを確認してから行なってください。けがの原因になります。

- ・ 電源スイッチを回して『  』（ON / 高圧洗浄機能）位置に合わすと電源が入り、『 OFF 』位置に戻すと切れます。



●ガンの扱い方

⚠ 警 告

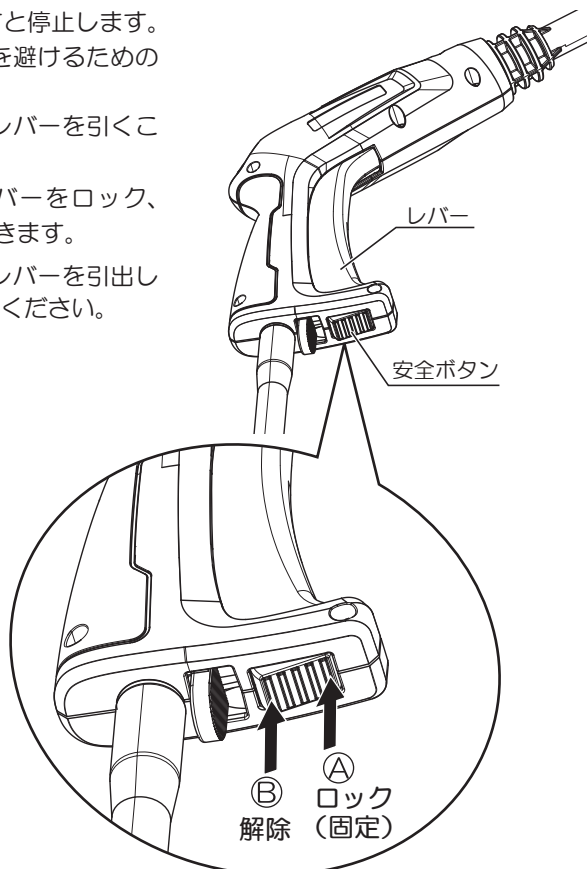
- ・ ガンのレバーを操作するときは、レバーの中央位置で操作してください。レバーの端で操作すると指を挟んでけがをする原因になります。
- ・ 使用しないときは、安全ボタンを押してレバーをロック（固定）してください。

- ・ レバーを引くと水が噴射し、放すと停止します。
- ・ ガンの安全ボタンは不意な作動を避けるためのものです。

レバーをロック（固定）するとレバーを引くことができません。

安全ボタンの ㊤ 側を押すとレバーをロック、
㊤ 側を押すと解除することができます。

※ 安全ボタンが押せない場合は、レバーを引出してから、再度安全ボタンを押してください。



操作方法

●ノズルについて

⚠ 警 告

- ・ ノズルをガンに接続している状態でノズルの先端をのぞき込まないでください。高圧水によりけがをするおそれがあります。

(バリアブルノズル)

噴射角（直噴⇄拡散）の切換え

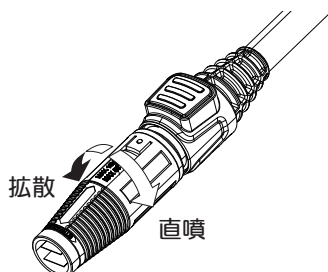
- ・ ノズルの先端を右図矢印方向に回すと、「直噴」、「拡散」に切換わります。

直噴洗浄…… 水流が直線上に噴射します。こびり付いた汚れに適しています。

拡散洗浄…… 水流が扇状に広がって噴射されます。バイク、車などの洗浄や泥落としに適しています。



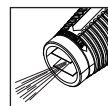
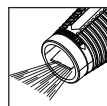
- ・ 拡散角の調整は、あらかじめ直噴の位置にしてガンのレバーを引き、水を出しながら必要な角度までノズルの先端を回してください。
- ・ 最も拡散方向に回してガンのレバーを引くと水が横方向に飛ぶ場合があります。周囲の状況に十分注意して洗浄作業を行ってください。



拡散



直噴

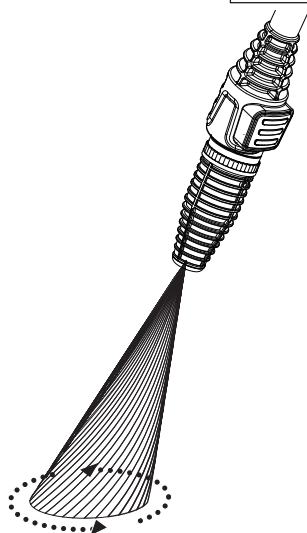


(ターボノズル)

- ・ ターボノズルを使用すると、水が回転しながら噴射され、洗浄効率がUPします。



ターボノズルは直噴のみです。強力ですので、壊れやすいもの、剥がれやすいもの、自動車の洗浄などへの使用は避けてください。



使用方法

⚠ 警 告

- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、通電された電気装置、機械本体などがないことを確認してから作業してください。ノズルから非常に高圧の水が噴射され、けがの原因になります。
- ・ 対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、目立たない所で試してから使用する、ノズルからの距離を置いて様子を見ながら洗浄するなど慎重に作業してください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、電源スイッチが切れていることを確認してください。コンセントにさし込むと同時に電源スイッチが入り、けがの原因になります。
- ・ 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・ 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
- ・ ガンのレバーをひもや針金などで固定して使用しないでください。とっさのときに噴射を停止することができず、けがの原因になります。
- ・ 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示と異なる電圧で使用すると、発熱、火災の原因になります。
- ・ 車などの足まわりなどを洗浄するときは、グリス塗布部分やカバー部分などに直接噴射しないでください。グリスなどが流れ落ちたり、損傷や重大事故の原因となる場合があります。
- ・ 本製品は水道の蛇口からの給水と溜め水からの自吸が可能です。自吸で使用するときは必ず別販売品の自吸キットを取付けて使用してください。故障の原因になります。
- ・ 本体を倒して使用しないでください。事故や故障の原因になります。

⚠ 注 意

- ・ 電源スイッチを入れる場合は、必ずガンのレバーを引く、ノズルを安全な方向に向けてからスイッチを入れてください。
- ・ 使用中に本体下部から少量の水漏れが発生することがありますので、設置場所に注意してください。
- ・ 自吸で溜め水を使用するときは、ゴミ、砂など混じった水は使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ 摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ・ ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- ・ 作業を行なう前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。
- ・ 車の洗浄は、バリアブルノズルを拡散側にして使用してください。水圧により塗装面を傷めたり、ラジエターの破損、モールなどが剥がれる場合があります。

使用方法

【水道水を使用する場合】

始動する

① 電源スイッチ『OFF』を確認する。

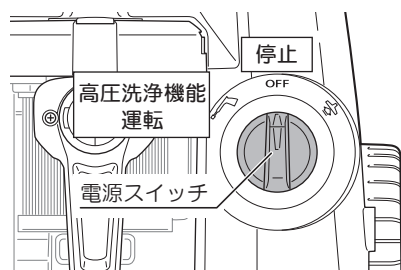
- ・ 電源スイッチが『OFF』になっていることを確認して電源プラグを一般家庭用（単相交流 100V）の電源コンセントにさし込んでください。



・ できる限り延長コードを使用せず本体の電源プラグを電源コンセントに接続してください。延長コードを使用すると電圧降下が発生し、十分な性能を発揮しない場合があります。

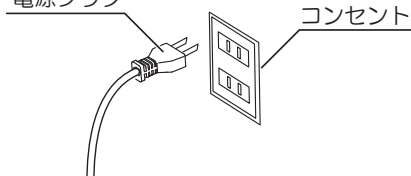
延長コードを使用する場合は、18 ページを参考にしてください。

- ・ 本体の電源コードを強く引き過ぎるとコードが断線するおそれがあります。



電源プラグ

電源
コンセント



② 水道の蛇口を全開にする。



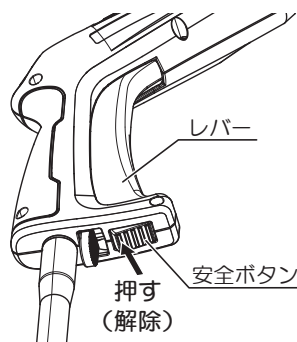
水量は 6.0 L/min 以上が必要です。水量が少ないと本製品の能力を十分発揮できません。

③ ガンのレバーのロックを解除する。

- ・ ガンの安全ボタンを押して、ロック（固定）を解除します。



ロックがかかっているとレバーが引きません。

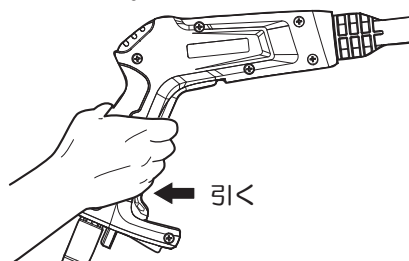


④ ガンのレバーを引き、ノズル先端から水を出す。

- ・電源スイッチを入れる前に、レバーを引いてホースやポンプ内部の空気を完全に抜いてください。

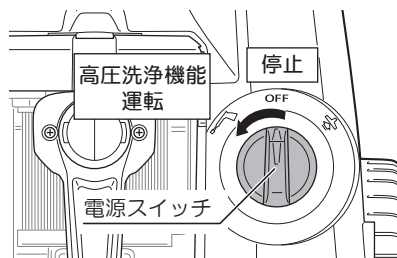


ホースやポンプ内部に空気が残った状態で電源スイッチを入れると圧力が上がらない、モーターが停止しない、ポンプが焼損するなど故障の原因になります。



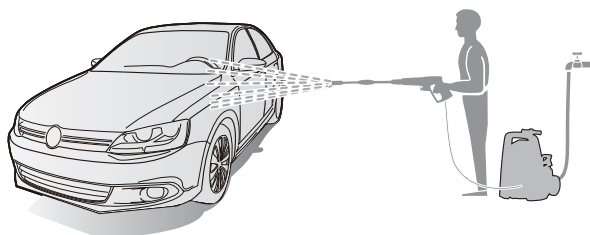
⑤ ガンのレバーを引いたまま、電源スイッチを『』(ON)にする。

- ・ガンのレバーを引き、ノズル部から水がスムーズに出ようになったら、電源スイッチを『ON』にします。



⑥ ガンのレバーを引いて洗浄作業をする。

- ・ガンのレバーを放すとモーターが停止します。再びレバーを引くとモーターが回転し、水を噴射します。(圧力スイッチ内蔵)



- ・摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利、碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。
- ・ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。
- ・作業を行なう前に、高圧ホースはまっすぐに伸ばして使用してください。
- ・噴射開始時は、ポンプ内やホース内に溜まった空気と一緒に放水されるため、水の出方が不安定になることがあります。その際は、安定するまで出し続けてください。
- ・本体のそばを離れるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
- ・ガンのレバーを引いたり放したりする操作は2秒以上の間隔をあけてください。
2秒以下で操作すると本体内の圧力スイッチが誤作動する場合があります。
- ・高圧ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。

使用方法

終了する

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

①電源スイッチを『OFF』にする。

②水道の蛇口を閉める。

③ノズルの先端から水が出なくなるまで、ガンのレバーを引く。

⚠ 警 告

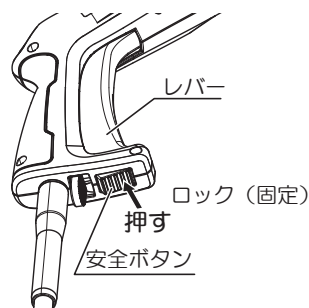
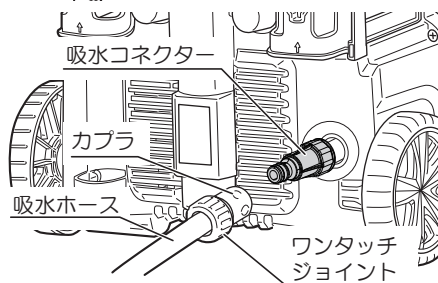
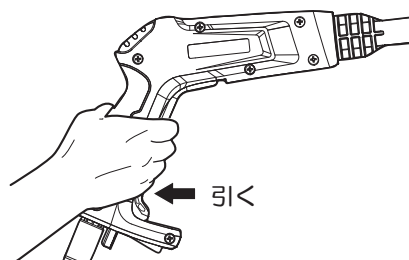
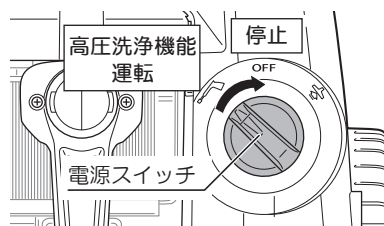
- ・ 万一の事故を防止するため、小休止する場合でも必ず①～③の動作を行なってください。

④吸水コネクターから吸水ホースを取外す。

- ・ ワンタッチジョイントのカブラを手前（矢印方向）に引いて吸水ホースを取外します。

⑤ガンのレバーをロックする。

- ・ ガンの安全ボタンを押して、レバーをロック（固定）します。

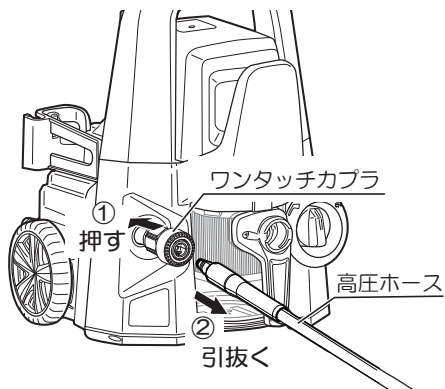


⑥ 本体から高圧ホースを取外す。

- ・ワンタッチカプラを本体側（矢印①方向）に押し高圧ホースを引抜きます。



高圧ホースが抜けにくい場合は、再度 31 ページ『使用方法 — 終了する：③ノズルの先端から水が出なくなるまで、ガンのレバーを引く。』からの要領に従って動作を行なってください。高圧ホースに内圧がかかっているおそれがあります。

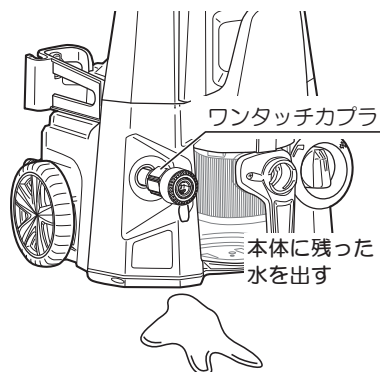


⑦ 本体に残った水を出す。

- ・電源スイッチを1～2秒『』（ON）にし、ワンタッチカプラより本体に残った水を出してください。



- ・水が勢いよく出ますので注意してください。
- ・電源スイッチを『』（ON）にしたままにすると、故障の原因になりますので、水が出なくなったら速やかに電源スイッチを『OFF』にしてください。



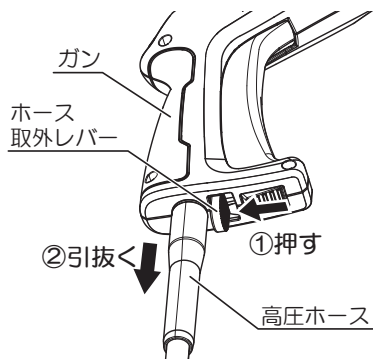
⑧ 電源コンセントから電源プラグを抜く。

⑨ 水道の蛇口から吸水ホースを取外す。

- ・ホースバンドを⊕ドライバーまたは⊖ドライバーでゆるめて取外します。

⑩ ガンから高圧ホースを取外す。

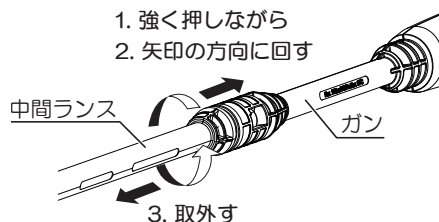
- ・ホース取外レバーを矢印①方向に押したまま、高圧ホースを引抜きます。



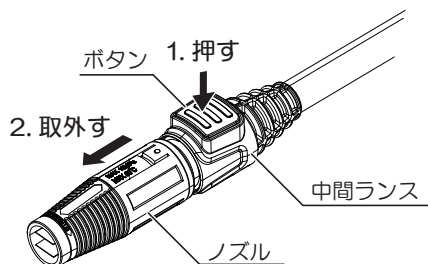
使用方法

⑪ ガンからノズルを取外す。

- ・ 中間ランスをガンの方向へ強く押しながら矢印方向に回して、取外します。



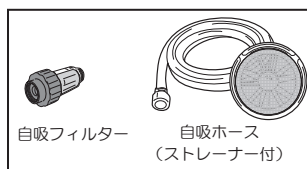
- ・ 中間ランスのボタンを押してノズルを取外します。



本体、高圧ホース、ガン、中間ランス、ノズル内に残った水を排出してください。
排出が不完全な状態で保管すると、錆の発生や凍結による故障の原因になります。

【自吸（溜め水）を使用する場合】

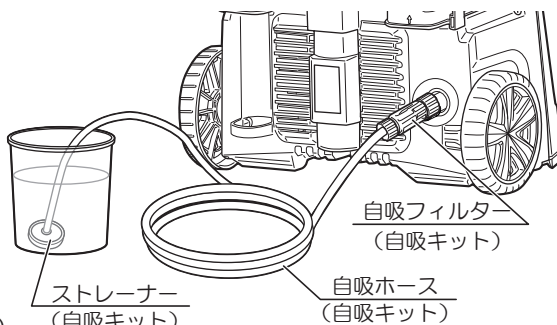
本製品は、別販売品の自吸キットをお買い求めいただくと、水道がない場所でもバケツなどに溜めた水を吸上げて使用できます。



自吸キット

※ 溜め水を使用する場合は、「呼び水」が必要になります。
呼び水を行わないと溜め水を吸上げることができません。

※ 水道から給水する場合と比べると、
吐出圧力は下がります。



●準備するもの

- ・ 自吸キット（別販売品）
- ・ 呼び水用の水（36 ページ参照）
（自吸ホース内が満杯になる量の水）
- ・ 洗浄用の水を入れるバケツ
- ・ 洗浄用の水



高低差のないところで使用してください。自吸できない場合があります。

●自吸キットの取付け



- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



- ・ 自吸キットを取付ける前に自吸フィルター、本体装着のフィルターとストレーナーの清掃を行なってください。ゴミや砂、藻などが付着していると吐出圧力の低下および故障の原因になります。

清掃方法は下記を参照ください。

57 ページ『●フィルターの清掃について』

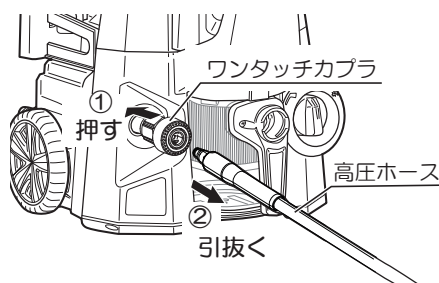
58 ページ『●ストレーナーの清掃について』

58 ページ『●自吸フィルターの清掃について』

使用方法

① 本体から高圧ホースを取外す

- ・ 高圧ホースが接続されている場合、本体より取外します。
ワンタッチカブラを本体側（矢印①方向）に押し高圧ホースを引抜きます。

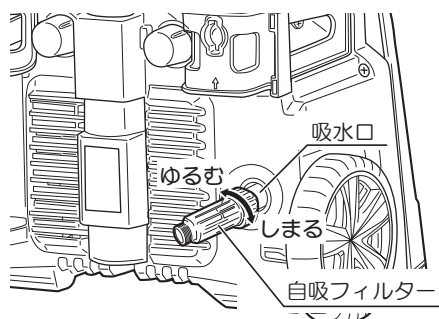


② 自吸フィルターを取付ける

※ 吸水口に吸水ホース、吸水コネクター、フィルターが取付けてある場合は取外してください。

自吸では使用しません。

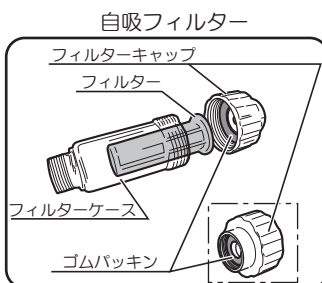
- ・ 自吸フィルターを吸水口にねじ込んで取付けます。



- ・ 自吸フィルターは、吸水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込み、フィルターキャップを持って確実に締付けてください。（斜めの状態でねじ込むとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。）

- ・ 必ずフィルターが吸水口、自吸フィルター内に組込まれていることを確認してください。フィルターが無い場合は、異物がポンプ内に侵入して故障の原因になります。

- ・ 吸水コネクターおよび自吸フィルターにはゴムパッキンがついています。取外したときになくさないように注意してください。



吸水コネクター

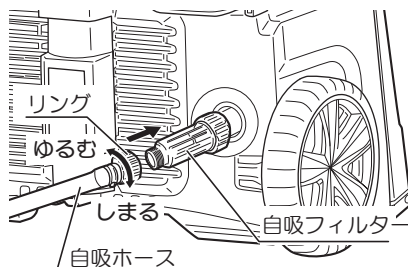


③ 自吸フィルターに自吸ホースを取付ける

- ・ 自吸フィルターに自吸ホースをまっすぐさし込み、リングを回して取付けます。リングは最後までしっかり締付けてください。



自吸ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。

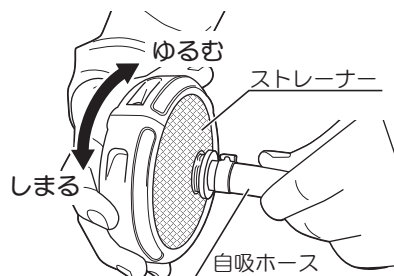


④ 自吸ホースからストレーナーを取外す

- ・ ストレーナーを回して取外します。



ストレーナー（自吸ホース取付け部）に針金が飛び出していることがありますので注意してください。けがの原因になります。

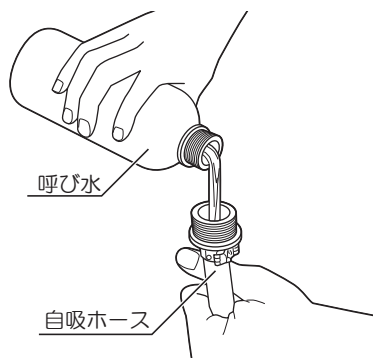


⑤ 自吸ホースの吸水側から呼び水を注ぐ

- ・ 自吸ホースの吸水側を製品より高く持上げ、用意した呼び水をゆっくりと注ぎます。自吸ホース内が満杯になるまで水を注いでください。
- ・ 取外したときと逆の要領で、ストレーナーを自吸ホースに取付けます。



ねじ山を合わせてねじ込んでください。傾いた状態でねじ込むと、ねじ部の破損の原因になります。

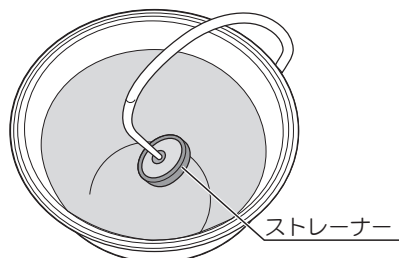


⑥ ストレーナーを水に入れる

- ・ バケツ（洗浄用の水）に、ストレーナーを入れます。



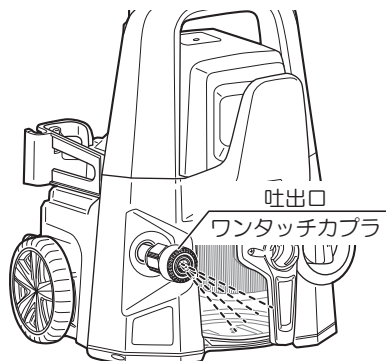
ホース内に空気が入らないように、バケツの中に入れてください。



使用方法

⑦ 水が出ることを確認する

- ・電源スイッチを『』（ON）にして、本体の吐出口（ワンタッチカプラ）から勢いよく水が出ることを確認したら、電源スイッチを『OFF』にします。



これで呼び水は完了です。
高圧ホースを接続して洗浄作業を行なってください。



水を吸わなかったり、通水したあと水漏れが発生する場合、本体底部より漏れている場合は、次の原因が考えられます。

- ・自吸フィルターのねじ込み度合いが弱い。
- ・自吸フィルターが正確に接続口に取付けられていない。
- ・自吸フィルター内のフィルターが正しく組込まれていないためフィルターケースとゴムパッキンに隙間ができています。

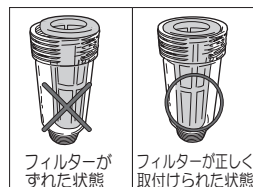
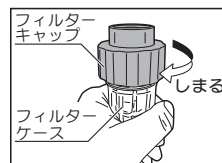


図1

上述の症状が発生する場合は、一度自吸フィルターを本体から取外して以下の要領で自吸フィルターを付け直してください。

1. フィルターキャップをゆるめてフィルターケース内のフィルターが正しく組込まれていることを確認してください。（図1）
2. フィルターを正しい位置に組込んだフィルターケースを垂直に持った状態で、上からフィルターキャップをしかりと締めてください。
3. 自吸フィルターを本体接続口（吸水口）のネジ部に噛み合せてねじ込んでください。
4. それでも水が漏れる場合はさらにきつく締付けてください。



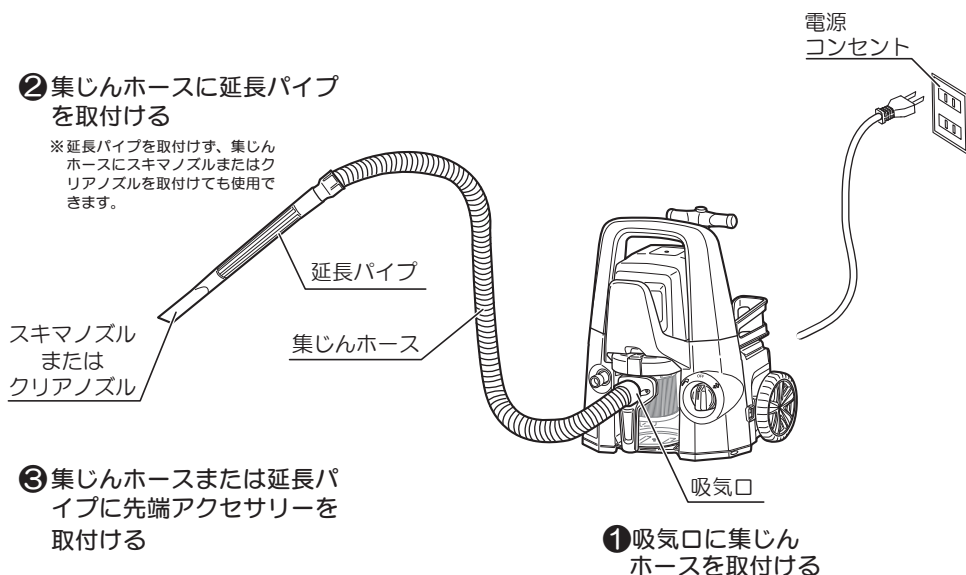
集じん機能

ご使用前の準備（取付け）

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全に集じん作業を行なってください。



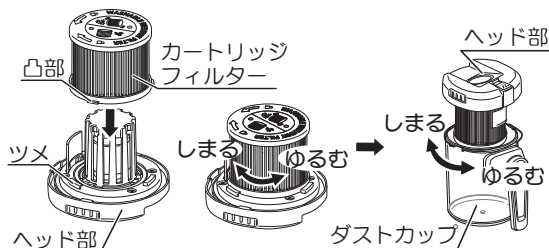
ご使用前の準備（取付け）

① カートリッジフィルターとダストカップが取付けられていることを確認する

※ 出荷時はカートリッジフィルターは取付けてあります。

- ・ 集じん作業を行なう場合は乾式使用时、湿式使用時の両方ともカートリッジフィルターを取付けた状態で使用してください。

※ カートリッジフィルターの凸部が3箇所ともヘッド部のツメに確実に取付いていることを確認してください。



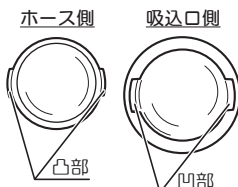
② ダストカップの吸気口に集じんホースを取付ける

⚠ 注意

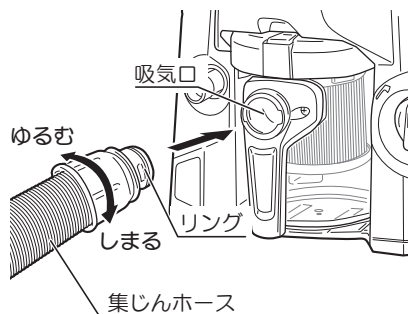
- ・ 集じんホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、集じんホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。集じんホースの変形や破損などの原因になります。

- ・ ダストカップの吸込口にホースをさし込み、集じんホースのリング部を矢印（しめる）の方向に止まるまで回して固定します。

- ※ さし込む際は、集じんホースの凸部と吸込口の凹部の位置を合わせてさし込んでください。

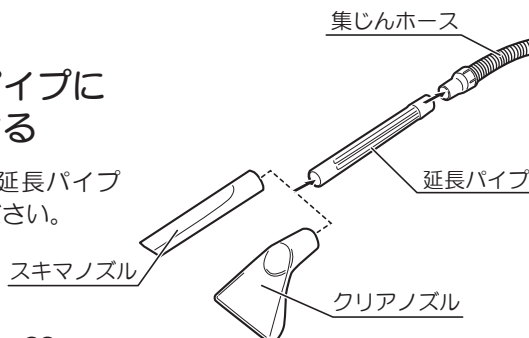


取付け後は、集じんホースが抜けないことを確認してください。



③ 集じんホースまたは延長パイプに先端アクセサリを取付ける

- ・ 用途に合わせて集じんホースまたは延長パイプに先端アクセサリをさし込んでください。



操作方法

⚠ 注 意

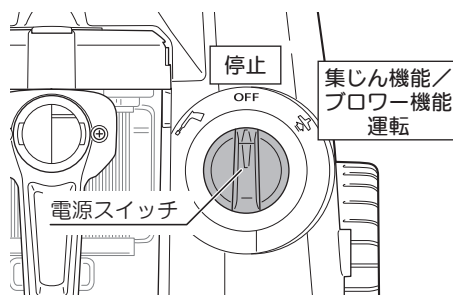
- ・ 先端アクセサリーを交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●スイッチの扱い方

⚠ 警 告

- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示（100V）以外の電圧で使用すると過電圧による発熱、火災の原因になります。

- ・ 電源スイッチを回して『』（ON / 集じん機能・プロワー機能）位置に合わせると電源が入り、『OFF』位置に戻すと切れます。



使用方法

⚠ 警 告

- ・先端アクセサリーは使用中に抜けないように、しっかりとさし込んで取付けてください。
- ・火災や感電、けが、健康障害、故障の原因になりますので、以下のものは吸込まないでください。

引火性物質

- ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など
- ・金属の研削、切断作業時に発生する火花
- ・火のついているもの、たばこの吸い殻など煙の出ているもの、および高温のものなど
- ・トナーなどの可燃物
- ・釘、カミソリの刃、つまようじ、ガラスなど鋭利なもの
- ・油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体
- ・金属粉やカーボン粉などの導電性のある微細な粉じん
- ・可燃性のガス（スプレーなど）

爆発性物質

- ・ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど
- ペットなどの排泄物、吐しゃ物、およびそれらがついたもの

固化するもの

大量の小麦粉、消火器の粉など、粉じん爆発のおそれのあるもの

除湿剤や乾燥材など

薬品類、中毒症状を起こす物質など

石綿（アスベスト）など人体に有害なもの

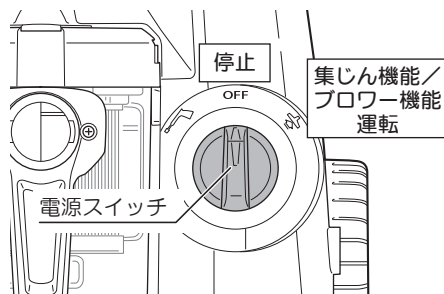
- ・本体の吸入口、吸気口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
- ・本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。本体が使用中に転倒したときは、ただちに電源スイッチを切り、本体を立て直してください。
- ・電源スイッチを入れたまま放置しないでください。けがや思わぬ事故の原因になります。
- ・一度に大量の液体を勢いよく吸うと、ダストカップから溢れ、本体内部に液体が浸入するおそれがあります。また、吸込んだ液体が風窓から出てくるおそれがあります。ダストカップのMAXのラインを超える前に吸込んだ液体を排出してください。
- ・ダストカップは正しく取付けて使用してください。正しく取付けていないとモーター部にゴミが入り、故障の原因になります。

※ ゴミを溜めすぎると吸引力が低下したり、故障の原因になりますので、早めにゴミを捨ててください。

始動する

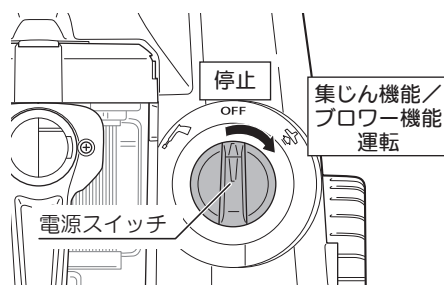
① 電源スイッチ『OFF』を確認する。

- 電源スイッチが『OFF』になっていることを確認して電源プラグを一般家庭用（単相交流 100V）の電源コンセントにさし込んでください。



- できる限り延長コードを使用せず本体の電源プラグを電源コンセントに接続してください。延長コードを使用すると電圧降下が発生し、十分な性能を発揮しない場合があります。
延長コードを使用する場合は、18 ページを参考にしてください。
- 本体の電源コードを強く引き過ぎるとコードが断線するおそれがあります。

② 電源スイッチを『ON』にする。



③ 集じん作業をする。



- 湿式使用時に一定量の液体を吸込むと、内部のフロート機構が働いて吸込まなくなります。
吸込まなくなったら、ただちに電源スイッチを『OFF』にし、マルチ洗浄機の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
ダストカップ内部の液体をこぼさないよう、排出してください。（45 ページ『●粉じんやほこり、液体の捨て方』参照）
吸込んだ液体がダストカップの MAX のラインを超える前に、液体を排出してください。
- 乾式作業でも本製品が使用中に転倒するとフロートが作動し、吸込まなくなることがあります。そのときは、スイッチを切って本体を起こし、再度スイッチを入れてください。

使用方法

フロート機構について

⚠ 警告

- ・フロート機構が作動したままで、運転を続けしないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
- ・洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。
フロートが作動する前に空気の出から泡がふき出します。
そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

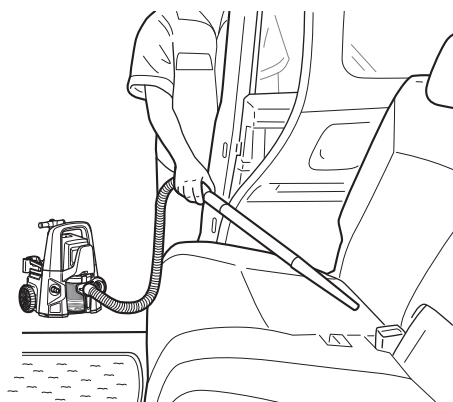
本製品には、一定量以上の液体を吸込んだ場合に、モーター内に液体が入るのを防ぐフロート機構が付いています。フロート機構が作動すると、液体を吸込まなくなります。そのときは、速やかにスイッチを切り、ダストカップ内の液体を捨ててください。

また、乾式作業でも本製品が使用中に転倒するとフロートが作動し、吸込まなくなることがあります。そのときは、スイッチを切って本体を起こし、再度スイッチを入れてください。

●作業例

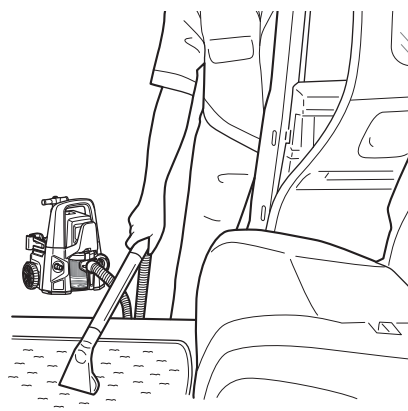
●スキマノズル

- ・シートのすき間などを掃除するとき、スキマノズルを集じんホースまたは延長パイプにさし込んで使用してください。
※小石は吸込めない場合があります。



●クリアノズル

- ・マットなど広い面を掃除するとき、クリアノズルを集じんホースまたは延長パイプにさし込んで使用してください。



終了する

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

①電源スイッチを『OFF』にする。

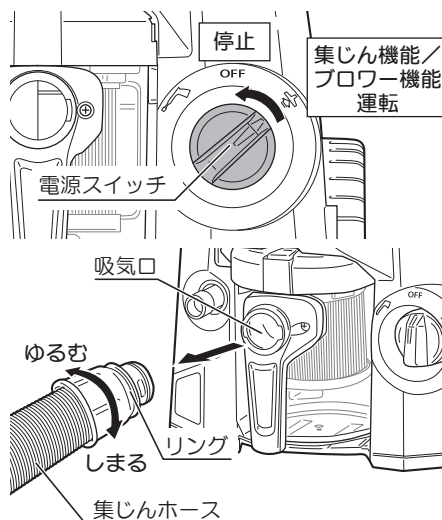
②電源コンセントから電源プラグを抜く。

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、小休止する場合でも必ず①②の動作を行なってください。

③本体から集じんホースを取外す。

- ・ 集じんホースのリング部を矢印（ゆるむ）の方向に止まるまで回して取外します。



集じん作業の後にブローとして使用する場合、集じんホース内に付着したゴミやほこり、汚水を洗い流してください。

ゴミやほこり、汚水が付着した状態でブローとして使用すると、集じんホース内のゴミやほこり、汚水を撒き散らすことになります。集じんホースを洗い流す際は、高圧洗浄機は使用しないでください。けがや破損の原因になります。

④集じんホースまたは延長パイプから先端アクセサリーを取外す。

- ・ 先端アクセサリーを取付けと逆の要領で取外してください。

⑤粉じんやほこり、液体を捨てる。

- ・ 本体からダストカップを取出し、ダストカップ内に溜まったゴミを捨ててください。
（45 ページ『●粉じんやほこり、液体の捨て方』参照）



使用方法

●粉じんやほこり、液体の捨て方

⚠ 警 告

- ・必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ・ダストカップ内に液体が入ったまま本体を横倒しにしないでください。ヘッド部(モーター部)、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。

⚠ 注 意

- ・ダストカップに強い衝撃を与えないでください。変形、破損の原因になります。
- ・ダストカップ内の粉じん、液体は作業終了時または毎日1回以上捨て、本体、カートリッジフィルターなどを常に清潔に保ってください。吸引力の低下やモーターの故障、悪臭発生や錆の原因になります。

使用中に吸引力が低下した場合も、下記の手順でダストカップに溜まった粉じんを捨ててください。

1. ダストカップ上部のダストカップボタンを押しながら本体からダストカップを取出してください。
2. ダストカップのヘッド部を矢印(ゆるむ)の方向に回して、カートリッジフィルターが取付いた状態のヘッド部を取外してください。(図1)
3. ヘッド部に取付いているカートリッジフィルターを矢印(ゆるむ)の方向に回して取外します。(図2)

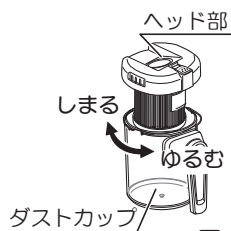
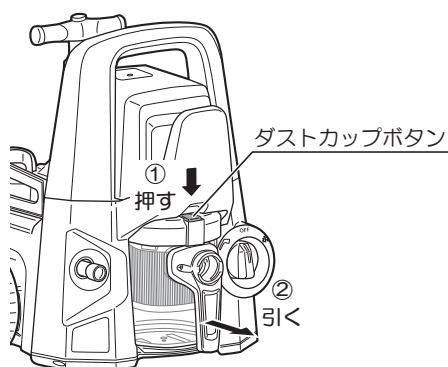


図1

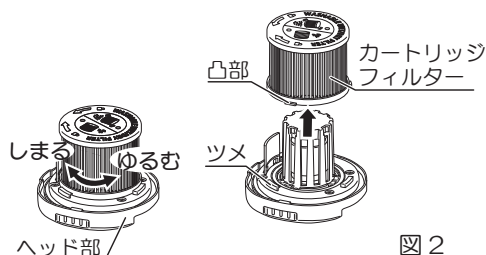
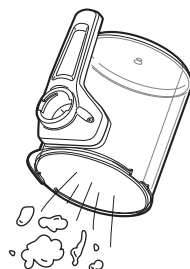


図2

4. ダストカップの上でカートリッジフィルターの表面を軽くたたいて付着した粉じんやほこりを落とします。



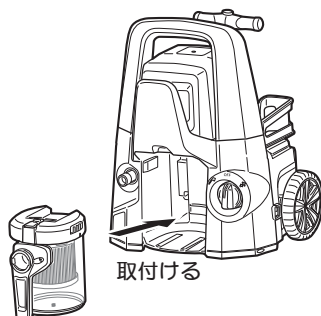
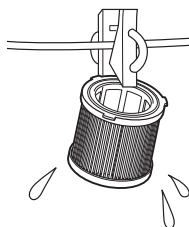
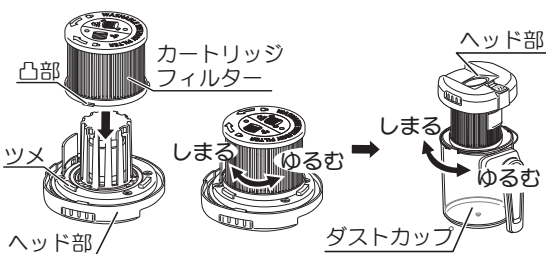
- ・ 粉じんやほこりをはたくときは、周囲の迷惑にならないところで行ってください。強くフィルターをはたくと、フィルター損傷の原因になります。
- ・ カートリッジフィルターは水洗いができます。定期的（1～2ヵ月）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後に乾式使用の場合は、カートリッジフィルターを陰干しして完全に乾燥させてから使用してください。



5. ダストカップ内の粉じんやほこりを捨てます。

6. カートリッジフィルターをヘッド部に取付け、ヘッド部をダストカップに取付けます。

※ カートリッジフィルターの凸部が3箇所ともヘッド部のツメに確実に取付いていることを確認してください。



ダストカップを洗浄した場合は、ダストカップ内を乾かしてから使用してください。

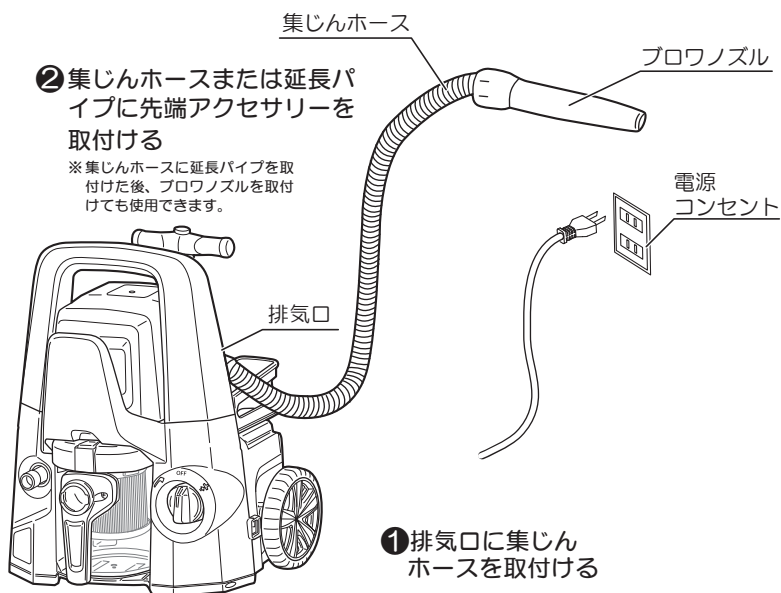
ブロー機能

ご使用前の準備（取付け）

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

次の手順ですべての部品を正しく取付けて、安全にブロー作業を行なってください。



ご使用前の準備（取付け）

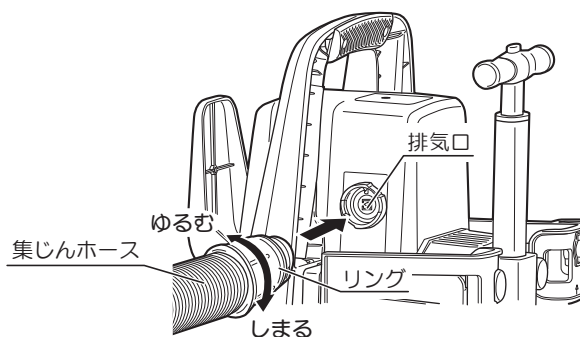
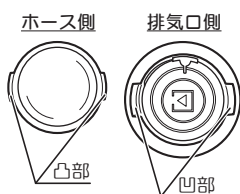
① 本体の排気口に集じんホースを取付ける

⚠ 注 意

- ・ 集じんホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、集じんホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。集じんホースの変形や破損などの原因になります。

- ・ 本体の排気口に集じんホースをさし込み、集じんホースのリング部を矢印（しまる）の方向に止まるまで回して固定します。

※ さし込む際は、集じんホースの凸部と排気口の凹部の位置を合わせてさし込んでください。



取付け後は、集じんホースが抜けないことを確認してください。



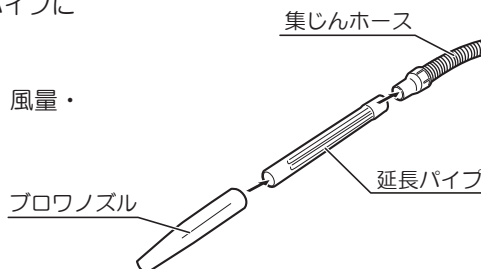
集じん作業の後にブロワーとして使用する場合、集じんホース内に付着したゴミやほこり、汚水を洗い流してください。

ゴミやほこり、汚水が付着した状態でブロワーとして使用すると、集じんホース内のゴミやほこり、汚水を撒き散らすことになります。集じんホースを洗い流す際は、高圧洗浄機は使用しないでください。けがや破損の原因になります。

② 集じんホースまたは延長パイプに先端アクセサリーを取付ける

- ・ 用途に合わせて集じんホースまたは延長パイプに先端アクセサリーをさし込んでください。

※ ブロワー作業時にクリアノズルの使用は、風量・風圧が小さくなるためおすすめしません。



操作方法

⚠ 注 意

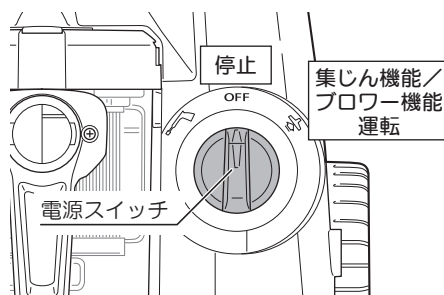
- ・ 先端アクセサリーを交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●スイッチの扱い方

⚠ 警 告

- ・ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示（100V）以外の電圧で使用すると過電圧による発熱、火災の原因になります。

- ・ 電源スイッチを回して『』（ON / 集じん機能・プロワー機能）位置に合わせると電源が入り、『OFF』位置に戻すと切れます。



使用方法

⚠ 警告

- ・ 本体の吸入口、吸気口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損など故障の原因になります。
- ・ 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。本体が使用中に転倒したときは、ただちに電源スイッチを切り、本体を立て直してください。
- ・ 電源スイッチを入れたまま放置しないでください。けがや思わぬ事故の原因になります。



集じん作業の後にブロワーとして使用する場合は、集じんホース内に付着したゴミやほこり、汚水を洗い流してください。

ゴミやほこり、汚水が付着した状態でブロワーとして使用すると、集じんホース内のゴミやほこり、汚水を撒き散らすことになります。集じんホースを洗い流す際は、高圧洗浄機は使用しないでください。けがや破損の原因になります。

始動する

① 電源スイッチ『OFF』を確認する。

- ・ 電源スイッチが『OFF』になっていることを確認して電源プラグを一般家庭用（単相交流 100V）の電源コンセントにさし込んでください。



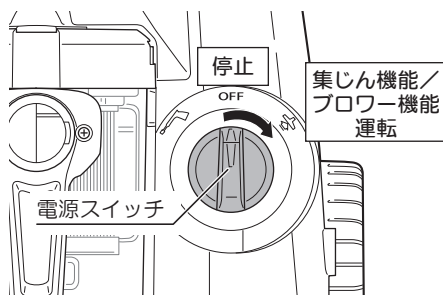
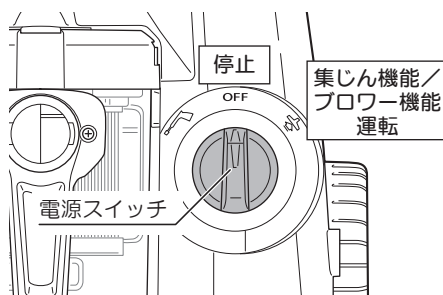
- ・ できる限り延長コードを使用せず本体の電源プラグを電源コンセントに接続してください。延長コードを使用すると電圧降下が発生し、十分な性能を発揮しない場合があります。

延長コードを使用する場合は、18ページを参考にしてください。

- ・ 本体の電源コードを強く引き過ぎるとコードが断線するおそれがあります。

② 電源スイッチを『』（ON）にする。

③ ブロワー作業をする。



使用方法

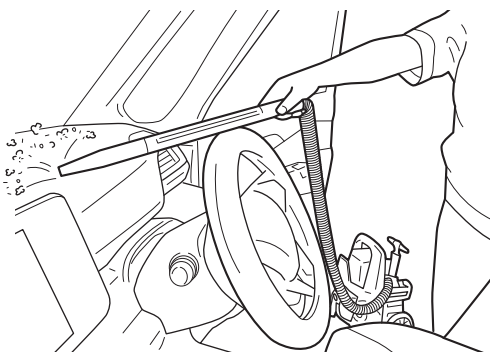
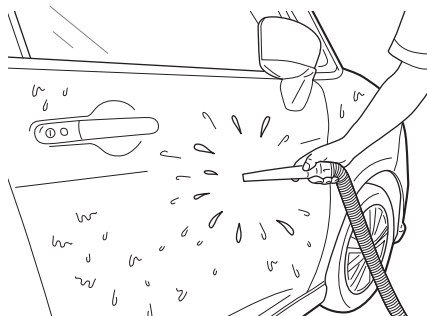
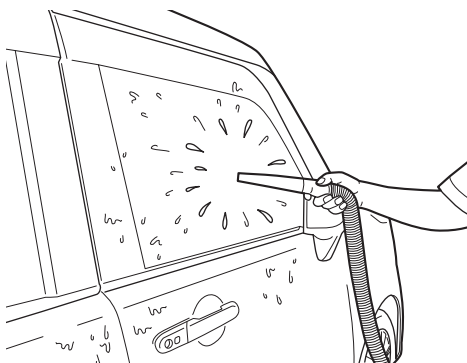


ご使用前に必ず、ノズル、集じんホース、本体内部のゴミやほこり、汚水などが排出しないことを確認してください。車のボディなど、傷の原因になります。

●作業例

●ブロウノズル

- ・洗浄後の社外の水滴や車内の細かいすき間などを掃除するとき、ブロウノズルを集じんホースまたは集じんホースに接続した延長パイプにさし込んで使用してください。



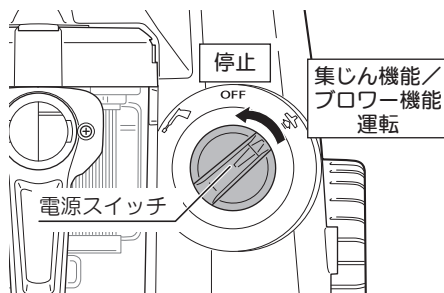
終了する

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

① 電源スイッチを『OFF』にする。

② 電源コンセントから電源プラグを抜く。

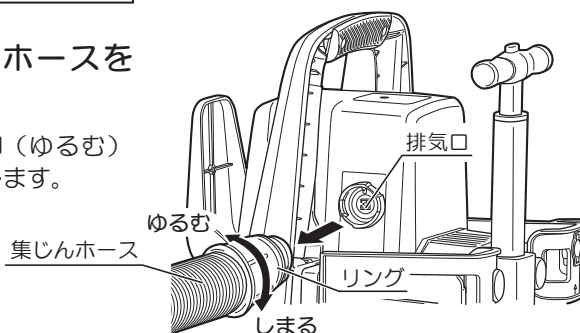


⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、小休止する場合でも必ず①②の動作を行ってください。

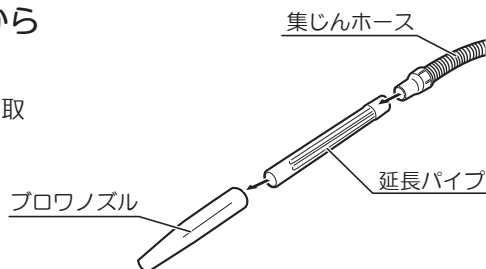
③ 本体の排気口から集じんホースを取外す。

- ・ 集じんホースのリング部を矢印（ゆるむ）の方向に止まるまで回して取外します。



④ 集じんホースまたは延長パイプから先端アクセサリーを取外す。

- ・ 先端アクセサリーを取付けと逆の要領で取外してください。



別販売品について

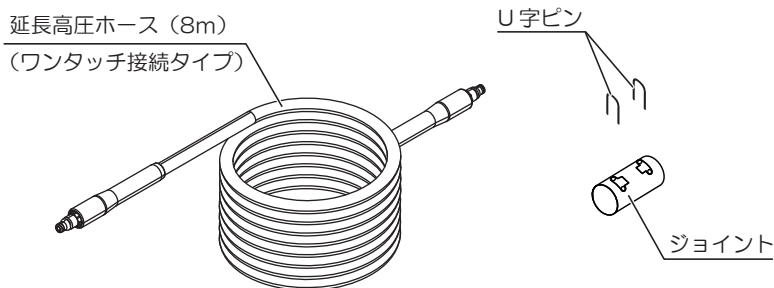


- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ 別販売品の詳細につきましては、商品お買い上げの販売店または商品のお問い合わせ窓口へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

●延長高圧ホース（ワンタッチ接続タイプ）8 m

- ・ 高圧ホースを用途に応じて延長して使用することができます。

- ・ 梱包内容：延長高圧ホース（8 m） 1
ジョイント 1
U字ピン 2



- ・ 高圧ホースを用途に応じて延長して使用することができます。高圧ホースと本体の間に延長高圧ホースを接続して使用します。



- ・ 延長は1本のみ使用可能です。
2本以上接続すると誤作動や故障の原因になります。
- ・ 吐水口、延長高圧ホース、高圧ホース接続部などにゴミや泥が付いていたら取除いてください。
- ・ 延長高圧ホースを左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。

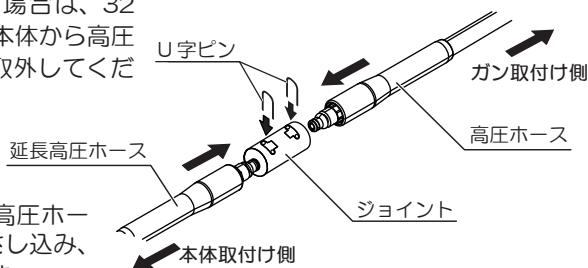
(接続方法)

⚠ 警告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

本体に高圧ホースを取付けてある場合は、32ページ『使用方法 — 終了する：⑥本体から高圧ホースを取外す。』の要領に従って取外してください。

- ① ジョイントに高圧ホースと延長高圧ホース（ワンタッチ接続タイプ）をさし込み、U字ピンをさし込んで固定します。



U字ピンは図の方向からジョイントへしっかり奥までさし込んでください。不意な高圧ホースの外れや、U字ピン紛失のおそれがあります。

- ② 反対側の高圧ホースまたは延長高圧ホース（ワンタッチ接続タイプ）をワンタッチカップラにまっすぐさし込んで取付けます。



- ・ 高圧ホースまたは延長高圧ホース（ワンタッチ接続タイプ）にゴミや泥が付いていたら取除いてください。
- ・ 高圧ホースまたは延長高圧ホース（ワンタッチ接続タイプ）を左右に強く引き過ぎると接続部から水漏れすることがあります。使用中に水が漏れ出ないように確実に取付けてください。

別販売品について

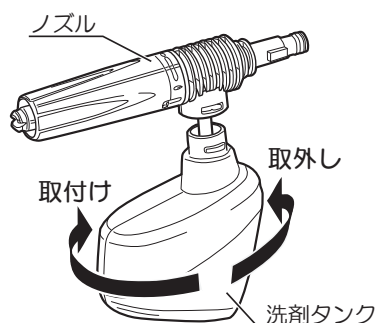
●泡ノズル

⚠ 警 告

- ・ 万一の事故を防止するため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

(取付け)

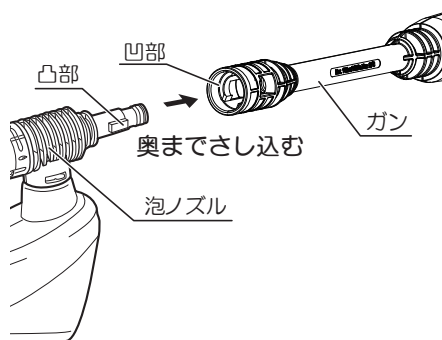
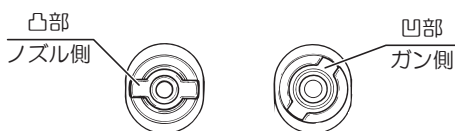
- ① 洗剤タンクの取付け、取外しは右図の矢印方向に洗剤タンクを回してください。



- ② ガン凹部に泡ノズル凸部を合わせてさし込みます。



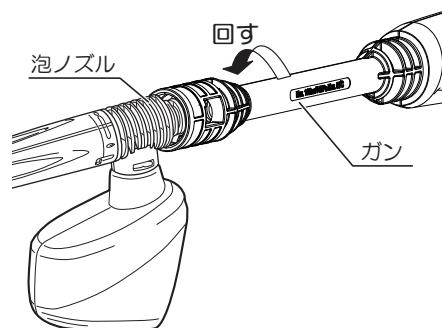
取付ける前にガン凹部と泡ノズル凸部にゴミや泥が付いていたら取除いてください。



- ③ 泡ノズルは必ずガンの奥までさし込んだ状態でガンを矢印の方向に止まるまで回してください。



- ・ ノズルを引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・ 泡ノズルは、右図の位置で使用してください。



●泡ノズルの使用方法

⚠ 警 告

- ・ 酸性、アルカリ性洗剤は使用しないでください。洗剤は中性洗剤のみを使用してください。酸性、アルカリ性の洗浄剤または化学薬品を使用すると、機械の安全性に悪影響を与えることがあります。

①洗剤タンクに中性洗剤を入れる。

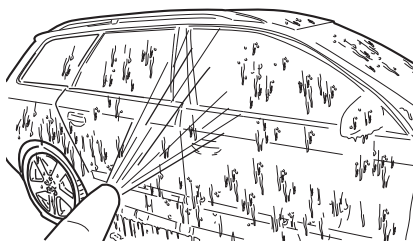
※ 中性洗剤は別販売品の多目的洗剤をお奨めします。



希釈など取扱についての詳細は、ご使用になる中性洗剤の取扱説明をお読みください。

②洗剤を噴射する。

- ・ 泡ノズルを洗浄対象物に向け、ガンのレバーを引くと、洗剤が水と混ざり、泡状に噴射します。



③汚れを落とす。

- ・ スポンジやブラシを使用し、汚れを落とします。

④洗剤を洗い流す。

- ・ バリアブルノズルに付換えて、洗剤を十分に洗い流します。

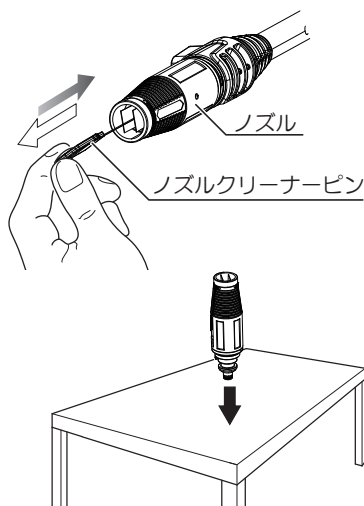
保守と点検

⚠ 警 告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

● ノズルの点検・清掃

- ・ 付属品のノズルクリーナーピンで定期的にノズル穴の清掃を行なってください。
- ・ ノズルクリーナーピンをノズルへ挿入した後、ノズルの取付け側を下にして2～3回軽く机などへ叩いて内部の異物を排出してください。ノズル穴が詰まっていると水の勢いが弱くなったり、本体内の圧力スイッチが誤作動します。



ノズルが詰まっているかどうかは、必ずノズルをガンから取外した状態でノズル穴をのぞき込み、穴が通じているかを確認してください。ノズル穴の清掃は必ずガンから取外して行なってください。

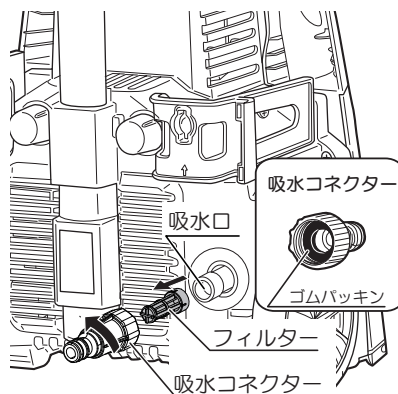
● フィルターの清掃について

1. 吸水コネクターをゆるめ、取外します。
2. 吸水口に取り付けてあるフィルターを取外します。
3. 取外したフィルターの編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。
4. フィルターを元の位置に取り付けます。
5. 吸水コネクターを本体に取り付けます。

吸水コネクターは、吸水口と正しく平行になるように位置決めし、少しずつゆっくりねじ込んでください。(斜めの状態でねじ込むとお互いのネジが正確に噛み合わず、水漏れの原因になります。)



吸水コネクターを取付ける前に吸水コネクター内にゴムパッキンがあることを確認してください。ゴムパッキンがないと締付けても水漏れします。

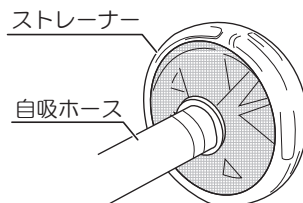


●ストレーナーの清掃について（溜め水使用の場合）（別販売品）

- ・ 編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。

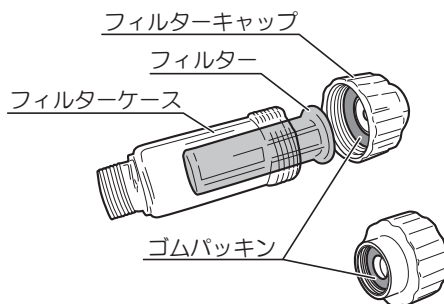


ストレーナーが目詰まりしていると吐出圧力低下の原因になります。

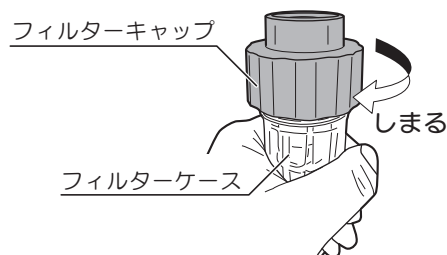


●自吸フィルターの清掃について（溜め水使用の場合）（別販売品）

1. フィルターキャップを外し、フィルターケースよりフィルターを取出します。
2. 取出したフィルターの編み目の詰まりやゴミを流水で洗って取除きます。
3. フィルターをフィルターケースに戻し、フィルターキャップを取付けます。



- ・ フィルターキャップの内側と外側にあるゴムパッキンをなくさないように気をつけてください。
- ・ フィルターキャップを取付ける際は、フィルターがフィルターケースに正しく組込まれている（ケース端面からフィルターが飛び出していない）ことを確認し、ケースを手で垂直（フィルターキャップが上側）に持ってフィルターキャップを取付けてください。フィルターが正しく組込まれていないと、水漏れや自吸できない症状が発生します。
- ・ フィルターが目詰まりしていると吐出圧力低下の原因になります。



保守と点検

●カートリッジフィルターの清掃について

- ・ 集じんを重ねると、カートリッジフィルターが目詰まりを起こし、集じん力が弱くなります。時々、カートリッジフィルターに溜まった粉じんを取除いてください。
- ・ 集じん力が弱いと感じたら、カートリッジフィルターを取出し、屋外など粉じんの影響の無いところでカートリッジフィルターを持ち、軽く左右に振るなど、はたいてください。汚れがひどい場合は水洗いしてください。
- ・ カートリッジフィルターは水洗いができます。定期的（1～2ヵ月）に粉じんを水で洗い流してください。



- ・ 粉じんをはたくとき、粉じんが周囲の迷惑にならないところで行なってください。風向きを考慮してください。
- ・ 強くフィルターをはたくと、フィルター損傷の原因になります。
- ・ カートリッジフィルターの水洗いの際に、高圧洗浄機は使用しないでください。けがや破損の原因になります。
- ・ 水洗い後は、カートリッジフィルターを陰干しし、完全に乾燥させてください。

●集じんホースの清掃について

- ・ 集じん作業の後にブロワーとして使用する場合は、集じんホース内に付着したほこりや汚水を洗い流してください。



ほこりや汚水が付着した状態でブロワーとして使用すると、集じんホース内のほこりや汚水を撒き散らすことになります。集じんホースを洗い流す際は、高圧洗浄機は使用しないでください。けがや破損の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか、確認してください。
- ・ もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・ 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。
- ・ 使用後は、ダストカップ内部に溜まった粉じんなどを取除いてください。
- ・ また、フィルターなどに付いたホコリなども取除いてください。

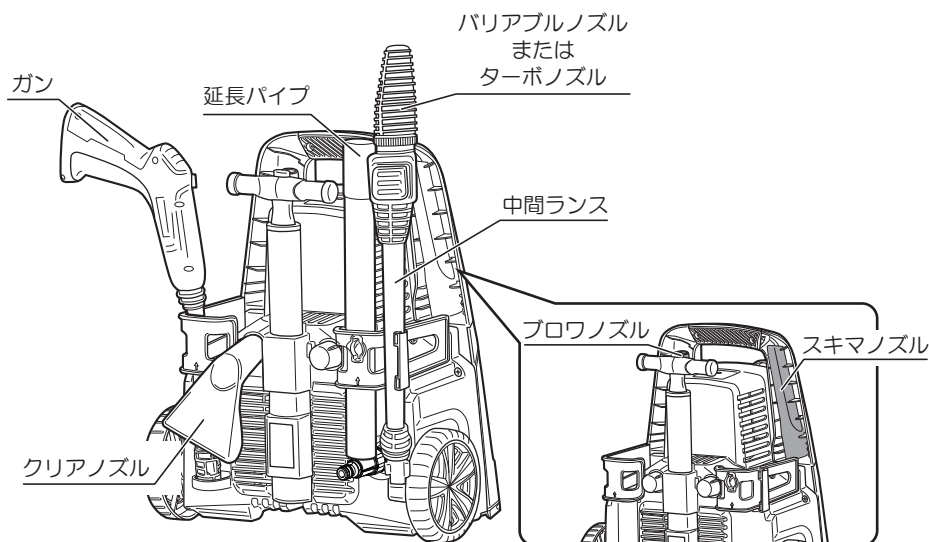
●修理について

- ・ 本製品は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- その他、部品の購入、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

収納・運搬・保管方法

●収納位置

- ・ 本製品を保管する際は、付属品などを図の位置に収納できます。

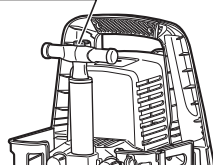


●運搬

●キャリングハンドルを使用する場合

- ・ キャリングハンドル上部のロックボタンを押込んで、ハンドルを伸ばします。

ロックボタン



吸水コネクター

運搬する際に、本製品を傾けすぎたり、段差を登ったりすると、吸水コネクターが地面に接触して破損するおそれがありますのでご注意ください。



●本体を浮かせて移動する場合

- ・ 運搬用ハンドルを持って移動させてください。

※ キャリングハンドルを持って本体を持ち上げるとキャリングハンドルが破損する可能性があります。



収納・運搬・保管方法

●保管

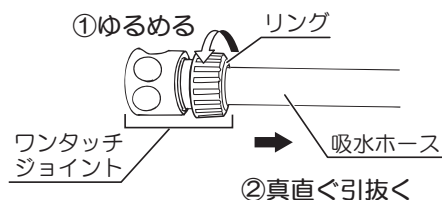
保管するには以下の事に注意してください。

- 凍結に注意してください。

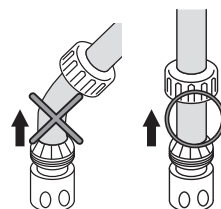
- ・ 保管する場合は、ポンプ、ガン、高圧ホース内に残っている水を排出してください。
水が残っている状態で凍結する場所に放置すると、破損や故障の原因になります。

- ・ ほこりがかからない場所に保管してください。また、吸水口、吐水口にゴミが入らないようにして保管してください。

- ・ ワンタッチジョイントから吸水ホースを①②の手順で取外してください。水圧が上がってワンタッチジョイントが破裂したり、吸水ホースが破損する場合があります。



ワンタッチジョイントには弁が付いています。弁の破損防止のため吸水ホースを取外すときは、吸水ホースを曲げた状態で引抜かないでください。



〈凍結防止の方法〉

- ・ 高圧ホース、吸水ホースを取外し、本製品の吐水口を下にし、電源スイッチを1～2秒『』（ON）にして接続口よりポンプ内に残っている水を排出してください。
※ 2秒以上電源スイッチを『』（ON）にしたままにすると、ポンプの焼損など故障の原因になりますので、速やかに『OFF』にしてください。
- ・ ガンから高圧ホースを取外し、高圧ホース内の水を十分に排出してください。
- ・ ガンのレバーのロックを解除し、レバーを引いてガン内部の水を十分に排出してください。ノズル内に残った水も十分に排出してください。

〈次回使用する場合〉

最初に電源スイッチを入れないでください。

1. 各部を接続し、水道の蛇口を開けてください。
2. ガンのレバーのロックを解除し、レバーを引き、先端から水を出すことで内部が凍結していないことを確認してください。

※ 凍結した状態で電源スイッチを『』（ON）にするとポンプが損傷する場合があります。

故障かなと思ったら

【高圧洗浄機能】

故障かなと思われたら、次のチェックリストにそって点検してください。

症 状	原 因	処 理
スイッチを入れても動かない。	電源コンセントが電源プラグから抜けている。	電源プラグを電源コンセントへさし込んでください。
	延長コードが切れている、または断線している。	延長コードを取り替えてください。
	ご家庭のブレーカー（過負荷保護装置）のスイッチが入っていない。	ブレーカーのスイッチを入れてください。
水の圧力が低い。 （水の勢いが弱い。） （水が息継ぎしたような出方をする）	タコ足配線をしている。 他の電気製品と同時に使用している。	定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
	指定された延長コードを使用していない。	延長コードを使用する場合は、P18 で指定された延長コードを使用してください。
	水量が不足している。	水道の蛇口を全開にしてください。 十分な水量を確保できる蛇口を使用してください。
	吸水ホースが折れて本体へ水が供給されていない。	吸水ホースが折れないように真直ぐ設置してください。
	吸水ホース内に空気を噛み込んでいる。	吸水ホース内の空気を排出してください。
	ノズルに異物が詰まっている。	P57『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
	フィルター（本体装着）が詰まっている。	P57『●フィルターの清掃について』の説明に従って異物を除去してください。
	水漏れしている。	水漏れ位置を確認して処置してください。
	ノズルが摩耗している。	ノズルを交換してください。
	異物がポンプ内部へ入った。	使用を中止し、販売店へご相談ください。
蛇口 - 吸水ホース接続部から水漏れする。	ホースバンドが変形している。	ホースバンドを交換してください。
	吸水ホースに傷が付いている。	吸水ホースを交換してください。
吸水ホースワンタッチジョイント接続部から水漏れする。	ワンタッチジョイントが破損している。	ワンタッチジョイントを交換してください。
	吸水ホースに傷が付いている。	吸水ホースを交換してください。

故障かなと思ったら

症 状	原 因	処 理
ワンタッチジョイントー吸水コネクター接続部から水漏れする。	ワンタッチジョイントが破損している。	ワンタッチジョイントを交換してください。
	吸水コネクターが破損、またはネジ山が傷んでいる。	吸水コネクターを交換してください。
	吸水コネクターのOリングが劣化している。	Oリングを交換してください。
	吸水コネクターとワンタッチジョイントが正しく接続されていない。	P22『④吸水コネクターにワンタッチジョイントを取付ける』の説明に従って正しく接続してください。
吸水コネクター本体接続部から水漏れする。 (本体底から水漏れしているように見える場合があります。)	吸水コネクターが破損、またはネジ山が傷んでいる。	吸水コネクターを交換してください。
	吸水コネクター内のパッキンがない。	パッキンを取付けてください。
	吸水コネクターが締まっていない、または斜めに締めこまれている。	P57『●フィルターの清掃について 5.』の説明に従って正しく吸水コネクターを締めてください。
本体内部から水漏れする。	ポンプの焼損、凍結	使用を中止し、販売店へご相談ください。
高圧ホースから水漏れする。	高圧ホースの変形、破裂	高圧ホースを交換してください。
本体ー高圧ホース接続部から水漏れする。	Oリングの切れ、劣化	Oリングを交換してください。
ガンーノズル接続部から水漏れする。	Oリングの切れ、劣化	Oリングを交換してください。
	ノズルの破損	ノズルを交換してください。
ご家庭のブレーカー（過負荷保護装置）が作動している。	タコ足配線をしている。 他の電気製品と同時に使用している。	定格 15A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
	指定の電圧、定格の電源を使用していない。	指定の電圧、定格の電源コンセントを使用してください。
ガンのレバーを放してもモーターが止まらない。	水量が不足している。	水道の蛇口を全開にしてください。
		十分な水量を確保できる蛇口を使用してください。
	吸水ホースが折れて本体へ水が供給されていない。	吸水ホースが折れないように真直ぐ設置してください。
モーターが起動しない。	ノズルに異物が詰まっている。	P57『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
ガンのレバーを引かないのにモーターが一瞬起動する(5分間隔以内)	ポンプ内部の圧力漏れ。	概ね 5 分以上の間隔であれば問題ありません。短時間でこの現象が発生する場合は販売店へご相談ください。
ガンのレバーが引けない。	ガンの安全ボタンが掛かっている。	ガンの安全ボタンを解除してください。

症 状	原 因	処 理
バリアブルノズルが直進なのに吐水が広がる。	ノズルの詰まり	P57『●ノズルの点検・清掃』の説明に従って異物を除去してください。
異臭がする。		使用を中止し、販売店へご相談ください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かなと思ったら

溜め水を使用した場合（別販売品の自吸キット使用）

症 状	原 因	処 理
水を吸い上げない	ストレーナーが水に浸かっていない。 （吸水すればバケツの水位は低下するので、使用前はストレーナーが水没していても、使用中に水位が低下してストレーナーが水へ浸かっていない状態になることがある）	ストレーナーを完全に水没させてください。
	ストレーナー、自吸フィルターが目詰まりしている。	ストレーナー、自吸フィルター、吸水フィルターを清掃してください。 また、自吸の水が汚い場合は予め、ろ過してゴミを取除いてから使用してください。
水の圧力が低い。 （水の勢いが弱い。） （水が息継ぎしたような出方をする）	ストレーナーが水に浸かっていない。 （吸水すれば水槽の水は低下するので、使用前はストレーナーが水没していても、使用中に水位が低下してストレーナーが水へ浸かっていない状態になることがある）	ストレーナーを完全に水没させてください。
	ストレーナー、自吸フィルターが目詰まりしている。（フィルターの1/4 程度目詰まりすると水圧が急激に低下します。）	ストレーナー、自吸フィルター、吸水フィルターを清掃してください。 また、自吸の水が汚い場合は予め、ろ過してゴミを取除いてから使用してください。
自吸フィルターから空気を吸込んだり水漏れが発生して、自吸しない	自吸フィルターが正確に接続口に取付けられていない場合があります。	自吸フィルターを本体から取外した後、付け直してください。 P35『 ② 自吸フィルターを取付ける』参照
	自吸フィルター内部のフィルターがずれて組込まれている	自吸フィルターを本体から取外した後、フィルターケース内のフィルターを正しく組込んでください。 P37 注意事項 参照

上記以外の症状が起こった場合は、62～64 ページをご確認ください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

【集じん機能】

症 状	原 因	処 理
吸引力が弱い	ダストカップやヘッド部が正しく取付けてありますか。	正しく取付けてください。
	ダストカップ内のゴミが一杯になっていませんか。	ゴミを捨ててください。
	カートリッジフィルターが目詰まりしていませんか。または汚れていませんか。	カートリッジフィルターをはたくか、水洗いをしてください。清掃しても吸引力が弱い場合または排気が気になる場合は新しいものと交換してください。
	先端アクセサリーや集じんホースにゴミが詰まっていますか。	詰まっているゴミを取除いてください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

【ブロー機能】

症 状	原 因	処 理
吸引力が弱い	ダストカップやヘッド部が正しく取付けてありますか。	正しく取付けてください。
	ダストカップ内のゴミが一杯になっていませんか。	ゴミを捨ててください。
	カートリッジフィルターが目詰まりしていませんか。または汚れていませんか。	カートリッジフィルターをはたくか、水洗いをしてください。清掃しても吸引力が弱い場合または排気が気になる場合は新しいものと交換してください。
	先端アクセサリーや集じんホースにゴミが詰まっていますか。	詰まっているゴミを取除いてください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

— NOTE —

— NOTE —

— NOTE —

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口



0570-025-028

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から
下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束する
ものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 KMP-1200		製造番号（表示位置は「各部の名称」をご確認ください）	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
		電話 ()	
お買い上げ日 年 月 日		保証期間（お買い上げ日より） 1年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって
お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い
上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業
所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をさせて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（塗装、メッキ、などの自然退色、高圧ホースのひび割れなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品、別販売品、消耗品の場合。（パッキン、Oリング、バルブ、チューブ、吸水ホース、高圧ホース、油脂類およびこれらに
類する消耗品）
(n) 外観など、使用に際し品質、機能に関連しない部分に損傷がある場合。（音、振動、1分当たり数滴の水漏れ、オイルのにじみなど）
(o) 商品分解状態での持ち込み
(p) 薬品、塩害などにより起因する不具合
(q) 気温の低下に伴う不具合（凍結させた場合の損傷、高圧ホースのパンクなど）
(r) 本製品を使用して生じた破損などの修復費およびそれに付随する費用など
(s) 水道水以外の水の使用や吸水ホース内の異物によりポンプが故障した場合
(t) 使用頻度を問わず、保証書の有効期限が過ぎた場合
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業
経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

